

# 議 事 録

説明会の名称	新しい小学校給食調理業務の運営についての保護者等説明会 (第一回)
開催日時	平成25年5月13日(月) 19時00分～21時00分
開催場所	小金井市立南小学校 体育館
説明のため出席した者の職氏名	教育長 津幡 道夫 学校教育部長 天野 建司 庶務課長 関 次郎 学務課長 前島 賢 学務課長補佐 河田 京子 指導室長 河合 雅彦 指導室長補佐 神田 恭司
説明会参加人数	31人
説明会次第	1 教育長挨拶(津幡教育長) 2 新しい経営方法による小学校給食調理業務5校委託4校直営について(天野学校教育部長) 3 民間委託の考え方(前島学務課長) 4 学校給食の指針・牛乳のメーカー変更・保護者アンケート結果について(河田学務課長補佐) 5 質疑応答(説明員) 6 閉会の挨拶
説明会内容	別紙のとおり
配布資料	1 新しい小学校給食調理業務の運営についての保護者等説明会次第 2 新しい経営方法による小学校給食調理業務5校委託4校直営について 3 学校給食に関する保護者アンケート結果概要 4 小金井市学校給食の指針(参考資料)

## 【質疑応答】

- 質問者            今回の民間委託は性急だったと感じている。保護者としては、もっと十分に時間を提供してもらいたいと思っている。
- 民間委託について小学校はしないという約束だったのになぜこういう話になったのか。
- 武蔵野市の財団法人についてはいかに検討したのか。法律上5年しか働けないとは知らなかったなので、その辺を知りたい。
- 非常勤のリーダー制度という話をされていたが、市で不補充があつて、調理員にかなり負担があつて疲弊していかれたと思う。正規職員を補充してほしいと交渉されていたと思うが、こういった流れで疲弊して労使合意したのかなと思う。
- 5校民間委託・4校直営はこのまま継続されるのか。このままでいくと退職者が出た時に、直営校は正規職員を補充していくのか。
- 5校委託・4校直営のそもそもの意味は。
- 学務課長            中学校の委託をする時に小学校の方は直営で行うという話は確かにあった。ただし、行政改革という観点からは、学校給食の見直しがあった。見直すにあたって、委託に限らず、小学校給食をどうやって経営するか、職員団体やNPO含め検討してきた。結果的に5校委託・4校直営という結論に達した。
- 武蔵野市方式について、公益法人に地方公務員を派遣することに関する法律の中に5年を限度に派遣するという規程があり、小金井市では5年後に戻ってくる場所が給食調理の現場にはないこともあり、どうなのかというところがある。
- 質問者            武蔵野市もそのように行っているのか。
- 学務課長            武蔵野市がどのように処理されているのかわからないが、5年の規程があるので、どうなのかというところがある。
- 質問者            是非突っ込んで調べていただきたい。
- 学務課長            検討を始めた頃から武蔵野市の状況を担当では調べている。もうひとつとして、民間でできるところは民間でやってもらうということもあるので、そのような面からも市で財団を設立すること自体どうかという経過がある。
- NPOも検討したが周辺には該当がなかった。弁当屋にも声を掛けたが、集団給食になると大量調理になるので勝手が違うということでお断りされたケースもある。
- 学校教育部長        リーダー制の検討について、平成24年8月に非常勤の新体制ということで、現行の非常勤を調理業務補助とし、新たに調理業務非常勤職員を置くということが提案された。さらに、調理補助業務非常勤は非

常勤職員とサブリーダー非常勤職員に分け、調理業務非常勤をリーダー非常勤とし、選考による昇任昇格制度を備えるものであった。新たな提案では現行の非常勤職員が担っている職務を細分化するものであり、リーダー制度とは異なるもので、導入するには十分な試行期間が必要であった。非常勤の任用制度が複数存在することも安定的な運用を行うためにも、十分な議論と検証が必要であった。非常勤嘱託職員については、市の行政運営のうえで、貴重な戦力であり、非常勤職員の新たな制度の構築や活用については否定するものではないが、給食調理における非常勤嘱託職員の新たな活用については慎重な議論と研究が必要であると聞いている。したがって、今回の給食調理におけるリーダー制についてはまだ小金井市において研究が必要ということで、この件の研究は幕を閉じたということである。

学務課長 4校直営をこのまま残していくのかということについて、直営校の職員の役割は、先程説明のとおり期待をしているところである。今後4校については、直営を維持していくと考えている。

質問者 補充はされるのか、されないのか、どちらなのか。

学務課長 そこについては、何年先になるのかわからないが、しばらく退職者がいない。その時の状況もあるが、直営は維持していく。

質問者 普通退職もあるが、こういった形で維持していくのか。

学務課長 今言えるのは、支障がないように対応していく。

質問者 補充はされないのか。

質問者 しないということであれば、自然減になったときに4校を無くすという方針をもっているか。

学務課長 今はそういう話になっていない。直営が必要だから、こういう話が結論となった。まず直営を維持していくことは、はっきり申し上げることができるが、その後のことについては、ご理解をいただきたい。

質問者 現行の正規職員が何人くらい残って、非常勤の方たちは今後どうなっていくのか。

学務課長 正規の職員は欠員がないように配置する。直営4校残ることから、4人校が2校ある。3人配置するところが2校ある。突発要員として、休んでしまった時に入る応援の職員を正規職員で1人置こうと考えている。したがって、15人は正規職員が直営校に残る。

非常勤については、今のところ協議中であるので、数字的にははっきり申し上げられないが、全員が残ることはないので、委託業者に対して、

仕様書に、今までは有資格者としていたところを、学校給食経験者などの条件を付けて、お願いしていく形になる。非常勤が調理場を知っているということは委託会社も助かる部分があるので、そのことで対応させていたいただきたいと思う。

質問者

中学校の話聞いて、正直な話をおっしゃっていると思う。しかし、中学校の委託の時の約束を破っても行革だから仕方がないと、今約束されても仕方がないとわかってしまうという印象があり、質問しても、仕方がないといわれると思うが、質問する。

プロポーザル方式は安全、だから安いだけの業者は選定しないという話があった。もう少しわかるように説明してほしい。

4千万の削減効果はすぐに出るのか。今年は何人首を切るのか。今年も任用換えだから、実際は何年後に4000万ベースの財政効果がでるのか教えてほしい。

食材の配達や自校方式の維持は小金井スタイルだから。これは約束できるのか。これも行革だから仕方がないとセンター方式になるのでは。

質問して約束しても変わってしまうのか。変わらないとは言えないと思うが、もう少し具体的に安心させてほしい。

学務課長

財政効果は、中学校の時もそうであったが、給食に係る人件費と委託料を比べて、どのくらい差があるのかということも財政効果として見ている。広く市で考えると、解雇する訳ではないので、その職員は他のところで仕事をする。給食のところだけで見ると給食の調理業務がなくなるので、それだけお金がかからないと言える。それで給食の改善を進めてきた。市としては、他の部署で退職者が出ても、補充しなくて済むので、効果がある。すぐに効果が出るのかと言われると、給食のところだけ考えると、一定の効果はでる。

プロポーザルは、公募型のプロポーザル方式を採用している。募集をかけて、提案書を提出していただくことになる。提案書については、例えば、学校給食に対する取り組み、安全衛生管理のこと、業務遂行能力、信用情報、立地条件、雇用計画を含めて書いてもらう。業務遂行能力のところでは、子ども達に対する取り組みなどを提案として、受けている。詳しい内容は、募集要項をご参考にいただければと思う。

質問者

安心だとわかるように考えてほしい。

学務課長

プロポーザルの結果などを含め、今後、公開していけるところは公開していきたい。

センター方式については全く考えていない。食材についても、民間委託になると委託業者を通して、購入されるのではないかと心配されているのではと思うが、そういったことは一切考えていない。以前、売り込まれたことはあるが、お断りしている。

質問者

委託業者の選定の考え方について教えていただきたい。

プロポーザルの条件として、中学校を委託している業者が、小学校の委託業者として申込むことが可能かどうかを教えてください。つまり、小学校と中学校両方を委託するような業者が出るのか。

可能であるとするなら、小金井市の近辺市で同じようなケースがあるのかわかれば教えてほしい。仮に中学校で現在委託している業者が小学校の入札資格がないというのと、新しい5校については、申請する業者が十分に用意できるというような考えなのか。

委託業者になる際の引継期間をどのように設定しているのか、イメージとしてどういう引継業務をされるのか。

学務課長 今の段階で、どうするかということは、お話しできるようなところまで固まっていない。

質問者 万が一、小・中で委託すると、委託業者の業務が過剰になるのではないかという心配があったのでお聞きした。

学務課長 ご意見としてお受けして、参考にさせていただきたい。周辺の状況とか調べさせていただきたい。

質問者 先程、中学校で委託したらおいしくなくなるという話があったが、それは、栄養士の献立の問題だろうとおっしゃっていましたが、日々家庭で料理をしていると、おいしくない原因はいろいろある。料理をしていくうちに上手くなり、そこそこのものが作れるようになる、そういうことを皆が経験している。おいしくないということは献立が悪いのではなくて、調理員が下手という可能性もある。下手というのは経験が足りない。

委託をすると費用が安くなるということはわかったが、すごく上手なのに、内容もいいのに、費用が安いなんてあるのか。実際にあるとすれば、今まで市の職員の水準も高かったと思う。その分費用もかかる。同じくらいよいが、委託したほうが安くなるというのがわかっているから委託すると思う。なぜ委託をしなくてはいけないかという合理化を進めよう、費用を削るためにやりなさいと言われるが、目的の中に費用を削ることが書かれていない。議論がすり替えられている。委託をすると安くなるのがわかっているなら、なぜ委託と同水準まで人件費を下げないのか、単純に疑問に思う。

委託後、手の込んだ料理ができるとあるが、費用が抑えられるということは技術的に劣る人が当然含まれる訳だから、手の込んだ料理はできる訳がないと私は思う。

化学調味料を絶対に使わないとあったが、絶対使わせないためにどういう方法を考えているのか。化学調味料はいくらでも持ち込もうと思えば持ち込めると思う。調理室の検査をするのか。何か決めているのか。

最後に、委託する業者の名前を教えてください。

学務課長 費用を削るために、人件費を下げられないのかという話があった。実

際のところ、民間の給与と比べると、公務員の給与は高いという状況がある。決して民間の給与が安い、委託の人はレベルが低いから安いとか、そういう形ではない。委託業者の見積を見ると、11ヵ月分を計上してくる。夏休み期間は給食の調理がないので、そこは外してきているのも要因ではないかと思う。安かろう悪かろうという話ではない。小金井市の設備で慣れていないと調理がうまくいかないということを聞いたことがある。そういうことが起こらないよう工夫ができればいいと思う。小金井市と同じ設備を使ったことがある業者を前提に選んでいる。機械によっては癖があるが、現在の直営の調理員と十分な引継をしてもらいたいという思いがある。特に指摘されるのが最初の頃だと思うので、重点的に教育委員会としては見て行ってほしいという思いである。

化学調味料を持ち込むということを想定していない。栄養士が食材の購入をしているので、それを使う事を前提に委託しているので、それ以外のものを使ったら契約不履行になる。そういったことがないと認識している。栄養士が途中でチェックしているところで判断する。

質問者 栄養士は調理場に入られて実際に見ているのか。

学務課長 必ず栄養士は調理場に入って見ている。そこまでやってはいけないという話にはなっていない。

質問者 費用を抑えたいから委託するということが書いていないという質問の答えは。

学務課長 経費を削減するということは目標の一つとしてある。ただ、すり替えていると言われてしまうと非常に残念だが、財源を生み出すのであれば、それと同時に市民へのサービスの向上がなければ、ただ財源を削減してもしょうがない話なので、さらにいい給食にしていきたいという思いもあって、このような表現になっている。委託、直営に関わらず、パートナーとして一つの学校給食を作り上げるというつもりでこれから取り組みたいと思っている。全体の向上を目指して頑張っていきたいと思っている。財政効果はもちろん生まれるが、それと同時に、ソフト面や給食の方でも第一小学校と本町小学校に強化磁器食器を入れられない状況が続いている。給食室が狭く、改善ができていないことがある。中学校の委託で出した財源もあるが、小学校で生み出したお金をさらにつぎ込んで、なるべく早めに導入を図っていきたい。財政が非常に厳しい状況の中で、学校として必要なものは、使っていきたいという思いがある。食器の改善について具体的な計画が出せないが、基本的にはそういう考えで、新しい経営方法を考えている。

委託業者は全く決まっていない。これからプロポーザルの公募をかける。

質問者 財政効果について、基準の人員配置に対して、財政効果があると言う事だが、すでに9名の欠員があるということで、財政効果はそれほどな

いと思う。1校800万円や1000万円の財政効果があるから4000万の財政効果があるという算定をよく聞くが、すでに欠員にしているので財政効果はない。

都の方針で現業の不補充ということから、それに小金井市は応じて4年間不補充できたと聞いているが、調理員が疲弊してしまい、また、昨年から折衝が続き、非常勤を半年ごとに替わられたことがあったから、これだけの大変な調理業務になったのではないかと思う。そのようにしてしまった市長の責任が大きいので、市長に直接説明をしていただきたいと思う。

武蔵野市の財団のことだが、武蔵野市が中学校の給食を始めるにあたって、行政の責任を果たしつつ、いい道はないかと模索されたと聞いている。その結果が、財団法人を市が立ち上げて、財団のトップが市の職員であると聞いている。直営の調理員や栄養士と財団が雇った人と、うまく武蔵野らしさを引き継いできている。そのことを全然検討されなかったというのはおかしいと思う。身近にお手本があって、民間に丸投げしない行政の責任で武蔵野市はやっている。そこを検討しなかったのは責任逃れではないかと思う。

栄養士が入れる、見られるということは、労基法によって、偽装請負になる。栄養士が指示書だけ。現状を全く見ていないことはないと思うが、基本的に栄養士は指示書を与えるのみで調理業務は実際に民間委託。それは労基法で決まっていると聞いている。栄養士と食材と献立は変わらないが、調理業務に栄養士は入れない。

最初にお礼を言うのを忘れていた。牛乳の変革で、私の息子も今まで飲んでいなかったが、喜んで飲むようになったので、保護者の意見を聞いて、一生懸命学務課のみなさんが検討して変えてくださって、感動した。

学務課長

財政効果のことで、実際に今の職員の人数と比べればそこまでの財政効果は出ない。ただ、欠員状態に追い込んでいるのは私達ではないかと言われると辛い、欠員状態でなければ必要な人数がある。そこを基準に、財政効果はいくらなのかということがまともな比べ方だと考えている。厳しい状態と比べてしまうと財政効果がないのかもいれないけど、それは比べ方が違うと認識している。

武蔵野市の話だが、多摩市が検討していて、教育委員会の議事録でも同じ様なことがあり、法的なところはどうかということと、消費税の話があった。財団では消費税が掛かるが、消費税を払うということが財政的にもどうかということがあった。私達としても検討していなかったというわけではない。民間委託になるからといって丸投げになるということではない。栄養士と連絡は取り、事前の打ち合わせもしている。中学校では検証もしていた。皆様には広く伝わっていないところもあったが、ご理解をいただきたい。

栄養士のことで、チーフは会社の代表者という位置づけであり、チーフと話すことは問題ない。チーフから各調理員に指令が行くので、そこは偽装請負にはならないと考えている。個々に指示するのは違法なので、

チーフとの話しになるが、体系的に指示が伝わると考えている。

学校教育部長 退職不補充の話。多摩26市でも平成20年度あたりから採用がないという状況がある。これまで頑張ってきた職員、非常勤のみなさんには厳しい状況を頑張っていたことには大変感謝している。しかしながら、公務員の採用は非常に重いことであり、よく2億円から3億円の買い物と言われている。それだけ採用は慎重にすべきという意味である。小金井市は平成9年度に退職金が払えず、退職手当債という借金をして全国的にも有名になった。したがって、採用が難しかったということもあった。



# 議 事 録

説明会の名称	新しい小学校給食調理業務の運営についての保護者等説明会 (第二回)
開催日時	平成25年5月14日(火) 19時00分～21時00分
開催場所	小金井市立小金井第二小学校 体育館
説明のため出席した者の職氏名	教育長 津幡 道夫 学校教育部長 天野 建司 庶務課長 関 次郎 学務課長 前島 賢 学務課長補佐 河田 京子 指導室長補佐 神田 恭司
説明会参加人数	24人
説明会次第	1 教育長挨拶(津幡教育長) 2 新しい経営方法による小学校給食調理業務5校委託4校直営について(天野学校教育部長) 3 民間委託の考え方(前島学務課長) 4 学校給食の指針・牛乳のメーカー変更・保護者アンケート結果について(河田学務課長補佐) 5 質疑応答(説明員) 6 閉会の挨拶
説明会内容	別紙のとおり
配布資料	1 新しい小学校給食調理業務の運営についての保護者等説明会次第 2 新しい経営方法による小学校給食調理業務5校委託4校直営について 3 学校給食に関する保護者アンケート結果概要 4 小金井市学校給食の指針(参考資料)

## 【質疑応答】

- 質問者 1年の保護者。直営校4校は今後もなくならないか。
- 学務課長 直営校は維持していくと考えている。
- 質問者 直営校の体制は。
- 学務課長 協議中であるが、一小・三小が4人校、本町小・東小が3人校、フリーの職員1人を入れて、計15人を考えている。非常勤については、各校3人ずつで計12人。
- 質問者 2・3年の保護者。委託校は民間の柔軟な対応とあるが、具体的にはどのようなことが柔軟なのか。
- 学務課長 民間業者は、手の込んだ献立に対応してヘルプの人を送り込んだりできる。柔軟に対応できるということ。例えば、バイキング給食やセレクト給食などの時。
- 質問者 4グループに分けるとあるが、分けてその後集まったりするのか。
- 学務課長 まず直営から発信してもらい、いずれそのグループの中で技術が広がったり、技術の相乗効果があると考えている。最終的には市域全体に広がることを考えている。細かくはつめていないが、市全体の給食の向上を考えている。
- 質問者 直営の技術や経験を委託校にも指導してほしい。
- 学務課長 直営の調理員もそう思っているはず。
- 質問者 委託された業者はどれくらいのスパンで業務を請負うのか。
- 学務課長 契約は1年契約だが、5年は同業者で業務をしてもらう。その後プロポーザルをおこなう。評価が高ければ継続することもある。
- 質問者 グループごとで委託先を決めるのか。学校ごとか。
- 学務課長 学校ごとで決める予定。中学校では一つの業者は2校までと定めている。小学校をどうするかまだ決まっていない。
- 質問者 職員の採用ができない中で、どうやって直営を続けていけるのか。
- 学務課長 直営は維持する。採用は将来的には見えないところもあるので難しい。直営は続けていく。その段階で、採用できれば採用したい。

質問者　　もし新規の採用がずっとできない場合は、何年くらい今の体制で直営を維持できるのか。

学務課長　　今の状態でいけば、5年くらいかと。欠員を生まないという話で。来年の採用ができるかどうか私も分からない。今は直営を維持していくとしか言えない。

質問者　　直営の方も新たにどういうふうにやっていくか決めていくと思うがある程度の見込みがないとできないと思う。5年というのはもうちょっと何とかならないか。

学務課長　　今は何とも言えない。直営は維持する。

質問者　　5年より先はグリーゾーンか。

学務課長　　直営は維持する。

質問者　　あまり曖昧なことを約束されると不安になってしまうので、明確にしたい。

質問者　　委託業者の選定のスケジュールは、6月上旬にプロポーザル公表とあり、9月の委託開始まで時間が短すぎないか。2学期に間に合うのか。

学務課長　　中学校のプロポーザルを1月から実施した実績はあるので、大丈夫だと考えている。

質問者　　なぜ各校ごとにプロポーザルが必要なのか。なるべく一括してやるほうがいいのではないか。各校の事情は他の書類などでわかると思う。

学務課長　　一括して行う。同じ日に業者を呼んでプレゼンとヒアリングをして決定する。業者がどの学校を望んでいるか、は後の話。プロポーザル上位の業者ごとに希望を聴いて学校を選んでいく。

質問者　　二小が上位の業者に選ばれなかったら、下位の業者に二小があたるケースもあるということか。

学務課長　　業者が希望すればそうなる。  
中学校の時は15社が申し込んできた。その中なので上位と下位といってもほとんど差はないと考える。心配されなくても大丈夫と思う。

質問者　　何社あるのですか。

学務課長　　全国で何社あるかはわからないが、15社が申し込んできた。

学務課長補佐　　募集をすると、小金井の給食をやりたい業者が申し込んでくる。

中学校の場合は、15社から申し込みがあり、市の選定基準に沿って、書類選考で5社に絞る。5社については、プレゼンテーションをしてもらい、順位を決める。業者の希望とあわせて学校を決めていく。

一般的に学校給食はどこでも基準など厳しい設定になっている。民間会社もその学校給食を請けていることは成果となり企業としての信用になるので、希望してくる業者は多い。小金井市は他で実績のある業者を市の基準で判断し選考していく。ご心配されなくても大丈夫かと思う。

質問者 仕様書で業者のことを監督するのか。抜き打ち検査などは考えているか。事故が起きた時だけ対応するのか。

学務課長補佐 中学の例では年度ごとに検証している。1年に1回学校での給食の評価と、それとは別に、調理員・栄養士で現場視察を行い、マニュアルに沿って作業が行っているか確認をする。改善点があれば業者に改善してもらっている。小学校も検証は行っていくことは考えている。

質問者 年1回か。

学務課長補佐 中学の例では、年に1回だが、内容についてはまた検討する。

質問者 一つの業者は中学校は2校までと聴いたが、その業者が小学校に入る可能性はあるのか。

学務課長 その点はまだはっきり決めているわけではない。業者の対応力を含めて考えていかないといけないのでこれから決める。

質問者 事前のアンケートで学校給食に期待することはという中でより安全な食材の使用を望む声がある。指針にも書いてある。食育、給食展、クッキング教室以前に安全な食材の使用が最優先だと思う。今回の新しい経営方法の中の目的に放射能対策のことが書かれていないのはなぜか。精度の高い測定機器を取り入れる絶好の機会だと思う。

学務課長 おっしゃるとおり、まずは安全なものを使っていくというのは最優先。給食展は給食を広く知っていただくため。クッキング教室は市の食育推進計画にも盛り込まれている。学校教育の食育とは離れるが、地域向けの食育もやっていかなければいけない。

放射能対策については消費者庁から借りている測定機器を使って週2回1日4品目ずつやっている。現状ではこの形を継続していきたい。

ご意見は頂戴する。

質問者 保育園でも桃の缶詰から10ベクレル/kgの基準値を超えるものがあった。それは氷山の一角で。10ベクレル/kg以下の数値も詳しく知りたいという保護者の希望もある。財政効果が4,000万円もあるなら新たな測定機器のことなどもご検討お願いしたい。

質問者 直営を維持すると言うが、正規職員の採用はわからないことは矛盾しているのではないか。

学務課長 直営維持する考えは変わらない。調理員と同じ方向を向いている。

質問者 正規職員は採用するのかもしれないのかはっきりしてほしい。

学校教育部長 教育委員会としてお答えするのは限界もある。現場の職員と積み上げた結果と成果を出さなければならない。採用は社会経済状況のこともあるが、業務に支障のない様にしていく。

質問者 直営4校も順次委託という感じがするが、どうか。

学務課長 そうは考えていない。直営4校を維持してやっていきたい。官民間わず一緒にやっていきたい。

質問者 工夫して策を探していくということか。

学務課長 4校直営5校委託で進めていく。

質問者 中学校委託の際も小金井らしさを残すため小学校は委託しないとってきた。調理員は新規採用が無い中、すり減らされて仕方なく委託となったのではないか。このままでは同じようなことがおきる。どのように模索するのか。どういうプロジェクトを起こそうと考えているか示されていないのでその場しのぎの感じがする。

学務課長 中学校の時にそういう経緯があったことは知っている。初めから小学校も委託ありきではなかった。行革として見直しをする中で結果的に5校委託という結論になった。今後については、いいところを相互に取り入れてやっていきたいと考えている、今後も継続できればいいと考えるので、努力させていただきたい。

質問者 今回のシステムだと栄養士の負担が大きいのではないか。献立を決めて食材のチェック、できあがったものの検査、調理室には入れないと聞く。うまくできなかつたら栄養士の責任。これまではコミュニケーションが取りやすかった。ベテラン調理員の話も聞いた。栄養士の育成という観点からも直営方式は良かった。栄養士の負担軽減や育成に関して何かお考えはあるか。

学務課長 まず、調理場に栄養士が入れないというのは誤り。指示もできる。チーフは委託業者の代表なので、そのチーフから調理員へ指示してもらう形となる。

質問者 調理室には自由に入れるか。

学務課長 入れる。杉並の例だが個々に指示するのでなければ、指示することは問題ない、と判例が出ている。実際に調理員と打ち合わせも充分にしている。委託先の調理員からも情報を頂いている。

質問者 そういう方式の中で栄養士も育つ、ということか。

学務課長 一緒には調理できない。現場に入った方が覚えやすいというのはあると思うが、調理を知ることは直営4校の職場でやっていける。栄養士の研修は別にある。常に調理員が傍にいないと育たない訳ではない。

質問者 小金井らしさ、おいしさの基準とか目標を定めているとか。指針に沿って、どういう目指すものをもってプロジェクトチームを作る等。数値的なものも掲げるとかの覚悟というかそのようなものはあってほしいと思う。しっかり掲げていただきたいと思う。

学務課長 そういうものを掲げられればよいと思う。このような保護者の皆さんの意見を取り入れて皆さんと一緒にこの新しい経営方法をつくっていききたい。

質問者 保護者。アンケート項目にもあるが、給食の質の維持向上をはかるという意味では、8・9の項目、保護者が参加できる仕組みなどが重要ではないか。話し合っていくことが給食の質の維持向上には必要。給食の委託の話は1年以上前からあった。この間、指針の陳情がでたりしたが、保護者が集まっているPTA組織で連合会というものがあるが、この1年間連合会などとどういった話がされてきたのか。今後どういった話をするのか。

学務課長 PTA連合会には事前に話はしていない。アンケートをとる段階でお話はさせて頂いた。内部の話になるが、労使交渉を経て初めて保護者側へ伝えた、という経緯である。今後については保護者の皆様と一緒につくっていききたい。どこから声をかけるか、というのは悩みどころだが、しっかり話していく。P連さんに声をかけるとか、広く一般に声をかける方法もある。ご意見として受け止めさせていただく。

質問者 小金井は食育の推進も掲げているので、委託校だけの問題ではなく小金井全体の問題と捉えている。PTAを含め保護者団体も交えてぜひともしっかり取り組んでほしい。

質問者 緑中ではこの春から業者が変わったが、はじめて出てきたご飯がべちゃべちゃだったときく。独自の釜で炊飯すると聞くが、心配である。8月中に白ご飯も含めた試食会を開いてほしい。

学務課長 まだ業者も決まっていないので何とも言えないが、試食会もできる方向で考えたい。

質問者 今回4月に新しい指針が出来たと思うが、中学校のプロポーザルの際には示されたのか。

学務課長補佐 中学校の委託のプロポーザルは1月だったので、この指針は事前には提示していない。2月には指針が完成したので新しい指針に従ってやってもらっている。

質問者 この新しい指針について、業者から要望や意見はあったか。

学務課長補佐 特にそういうことはなかった。

質問者 中学校の委託の際は、安い賃金でやめる人が多いのではという危惧があったが、委託を請けた業者の人の入れ替わりが多かったとかはあったのか。

学務課長補佐 委託当初は入れ替わりが多数あった。調理員の入替りは、市に報告されるので把握している。昨年度でいえば、若干の入れ替わりはあったが、調理業務に支障はなかった。

質問者 入れ替わりが激しかったことを示す資料は残っているか。公開できるか。

学務課長補佐 はい、把握して資料として残っている。

質問者 小金井のこのような指針は他市で例があるのか。参考にした市などはあるか。

学務課長補佐 武蔵野市、多摩市、小平市など聴いていた市を参考にした。プロポーザルについてはとくにない。指針は、市民の皆さんから多数の意見をいただいたことが大きい。我々で気付かなかったこともたくさんあった。

質問者 そういうハードルの高い指針に沿ってやるには、いい業者を継続的に入れていかなければならない。小金井らしさを追及するなら委託費は他市と比較しても高いくらいでよい。

学務課長補佐 委託の算出は中学校の例を提示し、業者から見積もりをもらっている。

質問者 この一週間の短期間では説明会に参加できる人も限られる。もう少し時間をかけて考えたほうがいい問題。

新しい経営方法での財政効果をどう使ったのかなど知りたい。その報告や説明をお願いしたい。

質問者 指針づくりには感謝。絵に描いた餅になってしまっただけでは駄目なので、指針をどういう風に実行に移していくのかというプランを市民参加でやっていくというのはどうか。是非ともお願いしたい。

学務課長 貴重なご意見ありがたく受けとめる。

質問者 先ほどの方のお話もあったが、これだけの資料があってもほとんどの保護者は目にすることがないのである。その点もう少し配慮が必要なのではないか。資料などを見れば、皆さん考えると思う。先にアンケートがきてしまったので。プロポーザルが始まるまで1カ月あるから各学校に置いておくなどしてほしい。この時間帯は働いている人は一番忙しい時間なので来られない。そここのところを考えていただきたい。

学務課長 今まで、給食のことのアピールなどしてこなかった。これからは給食を「見える化」していきたい。保護者説明会に来られない方に向けて、この説明会の資料を学校に置いたり、ホームページに公開したり、取り組んでいきたいと思っている。

質問者 アレルギーの方は牛乳の返金牛乳を飲まない人は牛乳費を払わなくていい、とかいう工夫ができないのが解らない。

学務課長補佐 基本的には給食費は一食単価で計算している。確かに牛乳は1本単価なので計算はできるが、個別にあれを食べない、これを食べないとなると対応ができない。現在は、アレルギーの理由の方のみ返金することとしており、放射能の心配や宗教上の理由などは返金していない。現時点での対応はご理解いただきたい。

質問者 栄養士から保護者へそのように納得する説明ができるようにしていただきたい。



# 議 事 録

説明会の名称	新しい小学校給食調理業務の運営についての保護者等説明会 (第三回)
開催日時	平成25年5月15日(水) 19時00分～21時00分
開催場所	小金井市立緑小学校 体育館
説明のため出席した者の職氏名	教育長 津幡 道夫 学校教育部長 天野 建司 庶務課長 関 次郎 学務課長 前島 賢 学務課長補佐 河田 京子 指導室長 河合 雅彦 指導室長補佐 神田 恭司
説明会参加人数	31人
説明会次第	1 教育長挨拶(津幡教育長) 2 新しい経営方法による小学校給食調理業務5校委託4校直営について(天野学校教育部長) 3 民間委託の考え方(前島学務課長) 4 学校給食の指針・牛乳のメーカー変更・保護者アンケート結果について(河田学務課長補佐) 5 質疑応答(説明員) 6 閉会の挨拶
説明会内容	別紙のとおり
配布資料	1 新しい小学校給食調理業務の運営についての保護者等説明会 次第 2 新しい経営方法による小学校給食調理業務5校委託4校直営に ついて 3 学校給食に関する保護者アンケート結果概要 4 小金井市学校給食の指針(参考資料)

## 【質疑応答】

質問者 委託という言葉から、お任せする、丸投げというイメージがぬぐえない。小金井らしさを守ってくれる業者があるのか本当に不安。途中で栄養士が中間検査をするなど書いてあるが、栄養士は献立をつくり文章でお願いするだけで強制力が働かなくなる。将来的に9校委託になるのであれば、守られなくなったら業者を変える選択しかなくなってしまう。小金井市の給食を守ってくれる業者があるのか。

中学校の給食はまずくなつたと聴いている。一部の意見かもしれないが、小金井市の給食の歴史を本当に守っていけるのか。

学務課長 丸投げ、ということはない。偽装請け合いなどの話もあるが守っていく。朝の打ち合わせや前日も打ち合わせしている。

小金井らしさと言っても感覚的なものもある。直営の中でも調理員によって変わってくる。

今、私たちが考えているのは4校直営でやっていくと考えている。9校委託してしまうとかは一切考えていない。ご心配になっていると思われるが、委託先と相乗効果でメリットを出していき給食が向上すると良いと考えている。

質問者 引継のこと。前任者と一緒に作業すると聞いたがスケジュールは8月にやると書いてあるが、実際にこの時期は給食をやっていない。引継というものはどういうことか。

学務課長 委託業者さんでの間での引継という意味で先程説明した。今回の引継は直営から民間の業者に引きつぐ。一緒に給食をつくるという訳ではないが、夏休みの間に調理を試みる、ということ。

学務課長補佐 中学校の委託は5年が経過してプロポーザルをし直したが、2校が委託会社を変更。調理作業ひとつひとつを引き継ぐというよりは、調理器具の特徴など調理員同士で伝え問題なく使えるようにするなど。

今回でも同じようなこと。実際に調理器具を使って、ある程度の量を調理してみる。

質問者 9月開始は早いという印象を受けた。これで必要なプロセスを全部踏んでいるとお考えか。

学務課長 短期間でもあるが、アンケートをとったり、説明会も充分でないかも知れないが、できることはさせていただいている。9月から実施するという形で進めている。

質問者 保護者への説明を十分にやってほしいし、説明会の日時についても、私も家に置いてきた子どものことが気になっている。広く保護者へ知らせるようにしてほしい。

学務課長 保護者の皆さんにわかるようにホームページにアップするなど保護者の皆さんと一緒にやっていきたい。どうやってご協力をいただくかまだ詳しく分からないが、よく見える給食にしていきたい。宜しくお願ひしたい。

質問者 拙速だなという印象。この大事な問題を後戻りできないようにやっている。小金井市の教育に信頼を失っている。中心にあるのは、行財政改革だと思うが、改善、改革という言葉で説明されているが、88.9%の子どもが概ね満足している、というアンケート結果がある。私も子どもがお世話になっているが給食に対して満足している。物事を変えるのは今の状況に問題がある時ではないか。アンケートによると不安に思っていない保護者は少ない。公教育というものは子ども達のことを第一に考えて次の世代のことを考えていくはずだが、まずいやり方になっているのではないかと思う。

財政効果で浮いたお金で給食室の拡張に使われると言っていたが、それは教育の責任の中でやるべきで浮いたお金を充てるものではないと思うし、民間は利益をあげることが使命なのでコストを削減するということになってくる。今日の資料の中でも食材料の検収を委託するというところでどうしても丸投げになってしまい、不備があるのではないか。

中学校が委託になった時に小学校ではやらないと聞いた。自校方式を変えない、直営4校を維持する、と言ったが中学校の時のように状況によって変わるのであれば、信頼できない。教育委員会の方に体を張って延期していただきたい。もっと時間をかけてやっていただきたい。

学務課長 9月からの実施は調理員の体制の問題がある。退職者の不補充の方針の中、現在の調理員は頑張って対応しているが、欠員を非常勤で対応している。ここで委託を進めていかないと今の状態がよいとは思わない。お楽しみ給食が減っているということも聞いている。充実した体制の中で調理の技術と知識を充分発揮してほしいし、委託校についても充実した給食ができればという思いが強い。拙速という意見はあるが進めたい。

確かに中学校の委託の際に小学校はないと言った経緯はある。第二次行財政改革大綱に中学校の給食調理業務の委託があり実施した。第三次行財政改革大綱では小学校の見直しがある。しかし、委託ありきで始めたわけではない。新しい経営方法の検討ということでNPOや非常勤の活用も含め協議を始めた。

その中で退職者不補充の流れや危機的な財政状況があったので、5校委託4校直営を職員団体に提案し、最終的にこの形となった。中学校の時も言ったのだが、今の段階でこれが一番いい方法だと判断している。自校式は小金井らしさの一つであり、変えるつもりはない。残り4校についても私どもは直営でやっていきたい。

現実的に採用ができない状況もあるが、しばらく定年退職者がいない予定。一定の期間でこのままでいける。退職の不補充は将来的に永遠に採用をしないという方針もない。教育委員会としてはこれを守っていきたい。

質問者 5年の保護者。説明会の日程の組み方について、市の誠意が全く感じられない。平日の7～9時に子どもを持つ母親が説明会に出られるのか。市はそこを考えているのか。実際に小さい子どもを持つ母親は給食に対する意識は高い。こういう形で説明会を開催されても来られない方が多くいる。そんな中で市が一生懸命やると言っても私たちには伝わらない。不信感はぬぐえないし市と一緒にやっっていこうという気にならない。それをご理解いただきたい。保護者は納得していないことをうけとめてほしい。ここに来られない保護者が多くの不満を持っていることを解ってほしい。スケジュールも拙速すぎる。小金井の小学生の毎日食べる給食がこんな形で委託されていいのか。行革や財政難だとか色々あるのは分かるが、毎日子どもが食べるものを経費がどうかで片付けられるものではないはず。給食は最後の砦のようなどころがある。ぜひこれからも市の職員の方には、子どもたちのいのちを繋いでいく、最低限のところを守っていく、というビジョンや姿勢をもって臨んでほしい。きちんと保護者と行政で想いを分かちあってやっっていかなければいけない。子どもの将来を守ることに保護者は強い想いを持っているので、そのところろわかってほしい。

学務課長 時間についてはお勤めの方へ配慮もするということが念頭にあったのでこのような設定となった。はじめてから参加しにくい事情があるということがわかった。不信感を持たれているのは残念なので、意見交換などを含めて今後やらせて頂きたい。ぜひ、宜しくお願ひしたい。

質問者 優良な民間業者のプロポーザルは具体的などのような手順で行うのか。中学校で2校変わった経緯は。

学務課長補佐 中学校は一定の年数がたったので見直しをした。プロポーザルの方法は、業者募集をして指定の書類を提出頂き、選考基準に沿ってまず書類で評定する。中学校では15者から申込があり、書類審査で5者に絞りプレゼンテーションと質問を行い、評定の高い業者に決定した。

結果的に中学校では業者が変わらなかった学校と変わった学校があった。選考基準については、中学校の時の例だが、学校給食の取組、安全衛生管理、業務遂行能力（安定的な業務、事項方式の実績、手作り給食経験者など）、経営状況、納税状況、過去に処分や事故の有無、雇用の考え方、委託料の見積り（適正かどうか）など。

大きく5項目だが審査項目は32項目で審査をしていく。小学校のプロポーザルについても、若干の変更はあるが、基本的にこういう基準でやっていきたい。

質問者 中学校2校はなぜ変わったのか。

学務課長補佐 高得点の業者から希望を優先して、決定した。

質問者 業者が更新の希望が無かったのか。市が選定しなかったのか。

学務課長補佐      ガイドラインに沿って業者の再選定をした。今までの実績については影響していない。

質問者              業者がころころ変わることになる。問題のないところを変えたのか。

学務課長            より良い業者があったということ。

質問者              何が評価されるのか。

学務課長            総合的評点で評価した。

質問者              コストが安い方が選ばれるのか。

学務課長補佐      委託料が安いことは一つの評価になるが、その比重は小さい。

質問者              同水準程度であった場合、コストが安いほうを選ばれるということになるか。

学務課長            確かに全く同じであればそういうふうになるかも知れない。各段に安いという業者はないが、適正に判断していきたい。

質問者              子どもはこの場所に行くことができない。子どもでも保護者でもない市の職員がすすめて行くと、安い方に流れていくのではないか。安ければ、質が低下することになる。調理員が頻繁に変わっていくことになる。そういう調理員が学校にいて何か事故があった際にはどうするのか。また、アンケート、説明会を実施して6月上旬からプロポが始まると知って驚いている。一緒にやっていくということだが、アンケートと一緒にやっていくということなのか。給食費を払っている保護者への説明もこのような形のみだし、決定事項の伝達だけか。9月からの決定は変わらないものなのか。

学務課長            9月から実施していきたいのでご理解をお願いしたい。9月まで時間もなく短い、やるべきことはやっていると思っている。

質問者              説明会もっとやったらどうか。

学務課長            説明会は全校やってどこでも参加できるという形にしているので、ご理解頂きたい。時間のない中、丁寧にやっているつもり。

質問者              初日に南小で出たが、追加質問できず時間切れだったので今日もきた。9月の委託をやめてほしい。こんなに性急にしないでほしい。このスケジュールは無謀だし、保護者の理解を得ました、あまり来ませんでした、関心が薄かったです、という結論にしてほしくない。来られない。よっぽどきっかけがないと、子どもを置いて来られない。

友人で行かないと言う人がいた。理由を聴いたら『どうせ進めるんでしょ？不安だけど、何をやっても無駄』という声があった。それではいけない。保護者の意見を聞いてほしいし、こうなったのは市の責任と思う。小金井市は、理解できないところにお金をかけたりしている。教育や福祉を大切にしてほしい。どうしてこんな性急に進めるのか。皆さんと一緒に、と市は言っているが、粛々と進めている。平日夜のスケジュールがこれだけ組めるのなら、昼間のスケジュールも組んでほしい。6月議会で6月は無理なら、5月中に組んでほしい。土日は習い事もあるし優先せざるを得ない。平日の昼間の時間に設定してほしい。多くの保護者が来られる説明会を設定してほしい。これで理解が得られたというのは納得いかない。

民間委託の方法を検討するなら、武蔵野市の財団方式を検討するとか検討する会を設けるとかしてほしい。安易な民間委託がいやなんです。どういう形がいいのか、一緒に考えるというなら一緒に考えるテーブル、検討するテーブルを設けてほしい。これまでちゃんと検討してないですよ。ちゃんと考える市民を募ってほしい。

学校教育部長 皆様にお伝えすることが遅くなったことは、申し訳なかった。ぎりぎりになってしまったことは、真剣に悩んできた結果でもある。これまで安易に考えたことではないことだけはお伝えする。スケジュールについては、9月から委託をして今後の体制を整えて充実していきたいと考えている。結果的には子ども達のためになる。これからのことについては、アドバイスをいただきたい。説明会の日程については帰ってから考えてみる。

質問者 時間がないので一言で質問する。やめてもらうには、一体どうすればいいか。

学校教育部長 体制を充実させて実施していきたい。その質問にはお答えできない。

質問者 答えてほしい。

学校教育部長 我々も現場の職員と一緒に考えてきた。悩んだ結果である。小金井の給食とはと考えてきた。財政危機と言われている。人件費の削減もやってきた。まだ足りないという意見もあるが、他にも改革することがあるという意見はごもつとも。しかし、どれもこれもやらないと予算編成自体も厳しいことも踏まえ、ご理解いただきたい。

質問者 給食の質の維持と向上、と書いてあるが、息子は緑小から緑中に行ったら給食はおいしくなくなったという。3年生は、今回業者が変わってまじになったと言っているとのこと。どこが向上なのかと疑問である。市全体にとってはいいかも知れないが、子どものことを考えるとどうか。スケジュールも不信感。今日ぎりぎりの時間で来られたが、話を聴いてもマイナスしか思えない。どこが向上になるのか。

学務課長

体制面の充実が向上に繋がると考えている。調理員も頑張っているが、実態としては非常勤の補充が続いている。お楽しみ給食が減ったり、手の込んだ料理ができなくなったりしてきているのが事実。そういう点も踏まえ体制の充実が必要。9月早急という話はあるが、体制を充実させたい。中学校は味自体が大人向けに変わっている。それによっておいしくなくなったというのもあるのかなど。それだけでなく委託業者の調理技術の問題もあるかもしれない。

実際、中学校の給食を食べてみてもおいしいと感じる。人それぞれなのか。委託業者が変わったときにはよくおいしくなくなったと言われる。必ずしも委託だから悪いとかではなく、一つのパートナーとして考えていきたい。委託と直営と区別を考えがちだが、私たちはそうは考えたくない。委託業者は中学校で頑張っている。足りない点は引き続きご意見をいただきたい。

## 議 事 録

説明会の名称	新しい小学校給食調理業務の運営についての保護者等説明会 (第四回)														
開催日時	平成25年5月16日(木) 19時00分～21時00分														
開催場所	小金井市立小金井第四小学校 体育館														
説明のため出席した者の職氏名	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">教育長</td> <td>津幡 道夫</td> </tr> <tr> <td>学校教育部長</td> <td>天野 建司</td> </tr> <tr> <td>庶務課長</td> <td>関 次郎</td> </tr> <tr> <td>学務課長</td> <td>前島 賢</td> </tr> <tr> <td>学務課長補佐</td> <td>河田 京子</td> </tr> <tr> <td>指導室長</td> <td>河合 雅彦</td> </tr> <tr> <td>指導室長補佐</td> <td>神田 恭司</td> </tr> </table>	教育長	津幡 道夫	学校教育部長	天野 建司	庶務課長	関 次郎	学務課長	前島 賢	学務課長補佐	河田 京子	指導室長	河合 雅彦	指導室長補佐	神田 恭司
教育長	津幡 道夫														
学校教育部長	天野 建司														
庶務課長	関 次郎														
学務課長	前島 賢														
学務課長補佐	河田 京子														
指導室長	河合 雅彦														
指導室長補佐	神田 恭司														
説明会参加人数	35人														
説明会次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 教育長挨拶(津幡教育長)</li> <li>2 新しい経営方法による小学校給食調理業務5校委託4校直営について(天野学校教育部長)</li> <li>3 民間委託の考え方(前島学務課長)</li> <li>4 学校給食の指針・牛乳のメーカー変更・保護者アンケート結果について(河田学務課長補佐)</li> <li>5 質疑応答(説明員)</li> <li>6 閉会の挨拶</li> </ol>														
説明会内容	別紙のとおり														
配布資料	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 新しい小学校給食調理業務の運営についての保護者等説明会次第</li> <li>2 新しい経営方法による小学校給食調理業務5校委託4校直営について</li> <li>3 学校給食に関する保護者アンケート結果概要</li> <li>4 小金井市学校給食の指針(参考資料)</li> </ol>														



## 【質疑応答】

質問者

指針の作成と牛乳のメーカー変更には感謝している。

4月12日に組合との合意、5月説明会、9月委託なんて性急すぎる。市は保護者参加でと言っているが、こんな大事なことなのに、全く保護者が無視されている。委託校の決定も保護者は無視されている。9月委託反対。アンケートでも説明でも理解できない部分が多い。

子どもの食を守りたい。答申には直営とも委託とも書いてない。

指針があるから委託するような説明は理解できない。現業職の不補充が大きな理由であることを保護者に説明してほしい。

直営校も委託校も同じだと言っているが違うと思う。作り手が違えば、違う。直営の調理員は素晴らしい。民間はプロだが、小金井の調理技術は水準は高いと思う。直営では栄養士が献立会議に参加していた。それがなくなる。全く同じものができるとは思えない。

武蔵野市は、民間では今までの丁寧な調理を引き継げるか、調理員の食育をどこまで出来るかの懸念がある。でも、市の財団法人であればきちんと継承できる、として財団を作った。民間に丸投げしないという姿勢が小金井市と全く違うので残念。子どもの食について責任を持ってほしい。

直営の維持について。退職者を補充するのか。南小では、明確には応えられていない、二小の説明会では5年と言われた、中学の時小学校は委託しないといていたのに、反故にされることになる。市長に説明責任がある。学童の説明会には市長が来た。

学務課長

早すぎるというのは、私も感じている。職員団体と合意が整った時点で公表。混乱を避けるため、みなさまと一緒に同時並行で進めるのは難しい。本来あれば時間を掛けてというのは分かる。タイトであるが、期間が短くて丁寧に対応するのは大変だが。9月に委託は先延ばししたくない。

調理体制の問題があり、調理員は限界。続けていくとさらに問題がでることもある。私どもが不補充にしてるという話もあるが、現場を抱えている私からすると一部委託して体制を充実させたいと考えている。

差が出るという話があったが、直営でも調理員の違いで差はある。小金井らしいとなると直営の調理員の力も借りないと。業者も頑張っている、パートナーとして考えている。直営の職員にも協力してほしいと考えている。皆さんと一緒に業者がちゃんとできていることをチェックしてほしい。

答申指針はすり替えではないかという質問。指針は守っていかなくてはいけない。答申では、委託については結論づけられていないのは知っているが、他の部分例えば食の重要性含めて答申は尊重させていただいているということ。答申や指針のせいにしてはではなく、指針は委託のために作ったわけではないことは、これまでも議会で説明してきた。皆さんにご意見いただいてわかりやすい指針ができて良かったと思っている。

給食に関して見えないところが多かった。これからは、情報を公開したりして、よくわかるような給食を作っていきたい。

財団については当初から検討したときも、民間でできることは民間でということもあり、市が出資して作るのは行革としてはすぐわない。武蔵野市に聞いたりした。武蔵野市は、財団のノウハウがあり、すぐ取り組めたのかなど。多摩市では検討したが、現在は民間委託。問題点があるという書き方がされている。①あらたな現業職員の給料表ができたことで、財政面のメリットがない②市の職員と財団職員の兼務辞令がでていいる。③都の栄養士は財団への派遣ができない、④消費税の負担がある等の問題がかいてある。小金井も多摩市に近い考え方。

退職者の話。しばらく、定年退職とかいうことはない。5年と言ったのは次の退職者が5年後ということと言った。今の体制についてはこのまま。採用については困難。これが未来永劫続くというのは分からない。

質問者 中学校のときも小学校はしないと書いていたのに

学務課長 当初そういう考え方はなかったが、変わった。

質問者 栄養士は一緒か。アレルギー食についても同じか。

学務課長 栄養士は異動がない限り同じ。アレルギー対応は同じ。小金井市で除去食2種類。ちゃんとできるような業者を選定し、市の基準で実施してもらう。

質問者 4年保護者。財源の捻出について、委託によって削減できたものは委託校に還元するべき。全体でプールして使うというのはチェックができないと思う。給食以外につかうのはおかしい。用途を明確にしてほしい。

一中に関して、あきらかに質と味が低下している。献立の組み方がおかしい。検証が適切に行われているのか。一中の給食室からは匂いがしないと言っていた人がいた。業者に対してのチェック機能が働いていない。委託後の給食が試食できるようにしてほしい。できれば検食の際にご一緒させていただきたい。その際にアンケートをして不具合な点を全保護者に回答してほしい。

問題があった場合は、業者の変更はできるのか。

請負契約は、栄養士が現場の調理員に指示できない。連携できるのか。企業は利益を上げるために、当初は良いが、味が落ちる。継続的に複数の方がチェックする必要がある。校長の検食だけでは不十分。業者に対するチェック方法は。

全面的に委託をしないのはなぜ。

今回の委託のことについては、丁寧な説明をお願いしたい。他の学校で行われている説明会の内容も知りたい。どこかで公開してもらえるか。

学務課長 議事録は公開する。アンケートも公開する。

財源は、委託校に還元するよりも14校全部に還元したい。教育委員会としては必要な事業にお金を使いたい。市がそれだけ厳しい状況にある。工事費用とかあるので、そういう思いで財源は使いたい。

今回はお子様にもアンケートを取らせていただいた。中学校の数値データがない。中学校はまずいという話は実際に耳には入ってくるが、実際に食べに行くとそんなこともない。試食会などは検討させていただきたい。

ひどい業者は選ばないとは思いますが、まず改善させるように指導する。直営を残す意味としては、直営の調理員は直営のよさ、小金井らしさを知っている。必ずしも紙に書かれていないので、直営の調理員でないと伝わらない。一小、本町小の改修工事にも携わってもらいたい。

杉並区で裁判になったことがある。現場の責任者には指示はできる。個々の調理員にはできないが、恒常的でなければ問題はないという判例もある。いい関係が作れば全然問題ない。

匂いについては申し訳ないが、わからないのでお答えできない。

質問者

2年の保護者。この資料によると、性急でとても不安。業者が集まるのか不安。小学校一校につき一社なのか。南中は美味しくないとするのは事実。毎日ではないようだが。調理方法に問題があるのでは。栄養士と調理員の信頼関係を短期間で調理方法を引き継げるのか。保証はあるのか。

学務課長

委託は中学校でも3か月でやった。委託契約については、さほど心配していない。中学校では2業者までだったが、まだ小学校は決めてない。引き継ぎは調理員の引き継ぎになる。

信頼関係はそこから。そんなに心配しなくていい。

おいしくない理由が、献立なのか、調理なのか、味だったり、切り方だったりがあると、どっちに言えばいいというのが分かる。私も業者に言ったことがある。丁寧に対応してくれるので、何かあれば本当はどんどん言ってもらいたい。また、意見を吸い上げるシステムを作りたい。

学務課長補佐

引き継ぎについて。調理室の器具の特徴やものがどこにあるのか、一日の流れなど直営の調理員から委託業者へ引き継ぐ。民間の委託業者も真心込めて作っている。運営協議会でも、民間の良さが報告されている。同じ学校の調理場で子ども達に提供するという事は、給食を楽しみにしている子ども達からおいしかったといわれたいと真心をこめて作っているということは民間でも直営でも変わらないと思う。今後、調理員同士の交流もある。

質問者

5年保護者。拙速な進め方である。そうじゃないとか言い合いをしてもしょうがない。武蔵野市は、検討を4段階に分けてやっている。庁内検討、家庭の予備調査、校長・副校長・栄養士、調理師・保護者・市民を入れて検討委員会を作った。公表して意見を吸い上げ、その後、計画策定委員会を作り保護者の声をいれて丁寧な形でやってきた。教育長と

天野部長が市民協働と言ったが、具体的な対応が見えてこない。丸投げのこのやり方で、安全・安心を守っていけるのか。

武蔵野市の財団方式。組合報では5700万円だったが、今日の資料では、効果は4000万とのこと。4000万しかでないのに無理してやる必要はないのでは。

財団の人の問題も、武蔵野市では柔軟な対応をしている。安心安全なことに智慧を絞っている。

仮に民間委託になったとしても、どのような民間委託にしたいのか作っていく必要がある。足立区は民間委託で給食がまずくなって、日本一美味しい給食を作るとHPで公開。職員の食堂で同じものを作って、区長や職員が試食している。チェック体制が無いと、魂の入った変わらない給食は維持できない。はじめは良くても、いいチーフは動いてしまうと聞いている。きちんとしたチェック体制必要。議論ないままいきなり9月からと言われても保護者は不安。

学校教育部長 現場主義の改革を進めてきた。現場の調理員が市民の声を聞いていると思っている。平成22年から給食とはということから始め、現場の職員と改革を進めてきた。理解をいただきたい。今回アンケート調査もいただき、子ども達にも迷惑をかけたかもしれないが、学務課は市民と一緒にやっていこうという姿勢がある。ご理解をお願いしたい。

4000万は大きい。市財政は危機的財政状況であり、みなさんの家庭で言えば貯金を取り崩し、このまま次年度以降も予算が組めるのかということを考えてやってきた。調理体制については、8名の欠員状況でこれまで小金井の給食を守ってくれてありがたいと思う。しかし、この体制で維持していくのは難しい。チェックシステムを早く取り入れてやっていく。民間の人たちもすばらしい。

質問者 それが伝わってこない。決まってもいない民間業者がなぜすばらしいとわかるのか。

学校教育部長 私の知人でも委託の学校の調理員がいるががんばっている。

学務課長 今まで中学でこれだけ言われてきている。今まで行政だけでやってきた。これが伝わらない問題。まず委託をさせていただいて保護者交えたチェック体制作りたい。

チェック体制もみなさんと考えて行きたい。後先逆じゃないかと思わないこともないが、まず委託をさせていただいて、同時並行で作っていききたい。その体制が出来上がるまでは、市で直営も含めて責任をもってやっていきたい。

質問者 3年保護者。混乱している。直営と委託の違いがわからない。直営と委託の伝達はどうやっているのか。子どもの声を吸い上げてないと言ったが、まずそれからやるべきではないか。

学務課長 小金井らしさは直営の調理員が伝えていく。グループを作る。その調理員が確実に伝える。調理そのものというよりも例えば、四小でいえばおにぎり隊などの活動は続けていく。調理員が集まる機会でも作っていかうと思っている。

質問者 どういうスパンで考えているか。

学務課長 調理員と決めていきたい。  
体制のこととして子どもの声を聞くことはしない。味のことや給食が変わったかアンケートは取る。  
教育委員会として全市的にやったのは初めて。これからもやっていきたい。

質問者 3年の保護者。中学校が2校まで、何校までということに理由があるのか。  
子どもが中学校で魚卵アレルギー。雄のししゃもが出たが中学生だから割ってみてわかった。調布の例がある。中学でも徹底してほしい。委託でそうなってしまったのか。

学務課長補佐 いくつか業者に入っていて、競争をしていただくということもあるが、もし他でも事故があつてそこができないようになってしまう場合もある。リスクを分散するため、検討しなければいけない。小学校は決まっていない。  
中学は代替えではなく除去食とする。事故を防ぐため。  
委託業者は言われたものを出すだけ。シシャモについては学校に希望を伝えていただきたい。

学務課長 付け加えて。除去食を基本にしたのは事故が怖いから。代替食は出さない。直営でもそういう基準になっている。事故が起こらないため。四小で8種類くらい作っていたこともあったと聞いている。

# 議 事 録

説明会の名称	新しい小学校給食調理業務の運営についての保護者等説明会 (第五回)
開催日時	平成25年5月17日(金) 19時00分～21時00分
開催場所	小金井市立小金井第三小学校 体育館
説明のため出席した者の職氏名	教育長 津幡 道夫 学校教育部長 天野 建司 庶務課長 関 次郎 学務課長 前島 賢 学務課長補佐 河田 京子 指導室長 河合 雅彦 指導室長補佐 神田 恭司
説明会参加人数	21人
説明会次第	1 教育長挨拶(津幡教育長) 2 新しい経営方法による小学校給食調理業務5校委託4校直営について(天野学校教育部長) 3 民間委託の考え方(前島学務学務課長) 4 学校給食の指針・牛乳のメーカー変更・保護者アンケート結果について(河田学務課長補佐) 5 質疑応答(説明員) 6 閉会の挨拶
説明会内容	別紙のとおり
配布資料	1 新しい小学校給食調理業務の運営についての保護者等説明会次第 2 新しい経営方法による小学校給食調理業務5校委託4校直営について 3 学校給食に関する保護者アンケート結果概要 4 小金井市学校給食の指針(参考資料)

## 【質疑応答】

質問者 中学委託の時に、小学校は委託しないと言っていたが、どうしてこのような話になったのか。

学務課長 第3次行革に沿って検討することが必要であったが、初めから委託ありきではなかった。非常勤の活用、直営、NPO法人、財団とかを検討してきた。結果として委託となったが、初めから取り組んでいたわけではなかった。

質問者 三小の直営がいつまで続くのか不安。

学務課長 採用が困難な状況であるので、今採用できるかといわれると難しい。しばらくは定年退職はないのでこの体制でいける。未来永劫採用しないという方針があるわけではない。直営を維持していく考えですすめて行く。

質問者 約束が反故された場合の責任はどこにあるか。

学務課長 そのようなことがおきた時に責任の所在がはっきりするのではないか。

質問者 現場の職員と協議を重ねてきたとおっしゃったが、給食費を支払い、税金も払っている保護者としては悲しい。これしか方法はなかったのか。委託になるプロセスが短すぎる。

学務課長 理解するにも短すぎるという言葉はそのとおり。調理員は最前線で働き、子どもたちと接している。全く保護者や子どもの意向を無視しているわけではない。職員団体と協議中は、いろいろなことが流動的で混乱を招くのでなかなかお話しできる状況ではなかった。丁寧にやっていきたいという気持ちはある。

質問者 今からは無理か。説明会の別日程を組むとか。理解してほしいといわれてもなかなか理解できないのが保護者の心情ではないかと思うが。

学務課長 土日は、明日、明後日にできれば参加いただきたい。平日の昼間は検討する。こちらとしては一番いいものを示しているので、あと保護者にわかっていただくしかない。

質問者 市にとっては良いかもしれないが、子どもにとっていい方法ではないと思う。小金井らしい給食とは、安全でおいしく温かい以外にどのようなことか。

学務課長 自校方式、だしからとるとか手作り、冷凍食品や半調理品を使わない、アレルギーの対応、行事食など。  
市にとって良いことは、子どもにかえていくと思っている。調理員

の体制が厳しい状況が続いていて、今の状況が続けて行くことについて心配している。9月実施はさせていただきたい。

質問者　　このまま続けて行くと子ども達にかえってくるという話があったが、直営4校で退職者が出た場合、補充されるか。理由は定年だけでないので、委託会社から補充されるのではないと思うが、どうなるのか。

学務課長　　9月には直営の欠員が解消され、人員は充実する。その後、欠員が生じるようであれば、支障のないようにしていくが、採用できるかできないかは言えない。

質問者　　退職でなくても、長期に休む方がいる場合の補充はどうするのか。

学務課長　　臨時職員が入る。

質問者　　その点は心配ないか。

学務課長　　心配ない。

質問者　　財政難、経費削減はわかっているが、子どもの食の1/3に関する事なのに当事者の子どもや保護者抜きでここまで話が進んでいることに心配がある。削減した費用は、子ども達のために使っていただけるのか。使い道を透明にさせていただけるかどうか。市民に公開していただけるのか。

学務課長　　予算を伴うものなので、議会で議決が必要で、今でも資料を作っている。ホームページでの公開をしていない。やってきたことがみえていないことは反省している。今後は公開していきたい。今は小学校2校の食器を優先的に考えている。

質問者　　土木工事とか他のことには使われませんか。

学務課長　　学校給食と余裕があれば給食以外の学校が必要な教育のために使っていきたい。

質問者　　放射能測定や牛乳の変更に感謝。内部被ばくに関して心配している保護者も多い。

今はイベント的なことよりも安全を重視してほしい。お米など毎日食べるもの、主要な食材についてだけでもゲルマニウム半導体など精度の高い検査にためにも予算を使っていただきたい。子どものために使っていただきたい。

学務課長　　どこまでできるかはあるが、これまで安心してもらえることをやってきたつもり。検討させていただく。



質問者 中学の委託で良くなった点は何か。  
チェックシステムの構築は9月までにやっていただけるのか。

学務課長 中学校では、給食を維持することと財政効果を目的として、強化磁器食器を導入してきた。今回は、財政効果だけでなく、新たな経営方法を提案している。本来は9月までにといいのはわかるが、これから保護者の皆様と一緒に検討していきたい。9月までにはできないので、それまでは教育委員会でチェックをしていく。

質問者 中学で良くなった点は、財政効果だけですか。

学務課長 そうである。財政効果で食器を導入した。

質問者 食器についてかかった経費は。

学務課長 後で回答。

質問者 中学の検証について、学校給食連絡協議会の試食の頻度と検証の内容を具体的に。抜き打ち検査などを行っているか。会社は利益を求めるので、安かろう悪かろうにならないためにどのようなチェックをしているか。

学務課長補佐 学校給食運営協議会は、1年に1回実施している。保護者も入っている。協議会による試食は1年に1回。業者のチーフと担当者も交えて試食、意見交換をしている。  
現場視察は1年に1回、調理員・栄養士・教育委員会のメンバーで行っている。マニュアルに沿って行われているかを確認する。それらの結果と、その他の検査結果などを含めて安全性を確認し、検証している。

質問者 年1回の現場視察で足りるか。年に1回だとその日は緊張して丁寧にやっていることも考えられる。何度も入るわけにはいかないが、どう考えるか。

学務課長補佐 確かに、視察の際には、業者は緊張している。  
栄養士が日常的に出入りしているので気になることがあればその都度お伝えしていく。回数については、今後考えていきたい。

学務課長 食器について回答。平成19年度から食器、かごやトレイを併せて、約4300万円、保管庫や洗浄機など備品1億6650万円、その他工事費もかかる。

質問者 1年間か。

学務課長 委託してから6年間の総額。

質問者 中学校 5 校の食器か。

学務課長 一小・本町小を除く全校。

質問者 栄養士がいることはありがたい。栄養士の意見を大切にしてほしい。

質問者 これから業者を募集して間に合うか。

学務課長補佐 業者は 9 月には人員をそろえてくることを前提に申し込んでくる。中学の再選定の時は、1 月から募集をして 3 月に決定した。

質問者 普通は 4 0 0 0 万円削減されたら、違うところに回されるが、教育関係に残してもらえるのか。

学務課長 市の財政部署と約束している。中学校の財政効果についてもそのようになっている。

質問者 調理師の欠員が 8 名出てしまったのはなぜか。

学務課長 現業職の退職者不補充という考えがあり、ここまできてしまった。

質問者 前もってわかっていたのではないか。財政効果も、実際にはすぐには効果が出ないと思うが、前もって委託する流れになっていたのではないかと考えてしまう。

学務課長 現場としてはどうやっていくか非常勤の活用とかいろいろ考えてきた。先が見えない中、直営をなるべく続けて行きたい、採用ができるかもしれないという考えもあり考えてきたが限界にきてしまった。

質問者 退職者の不補充の考え方を教えてほしい。

学務課長 実際にそういう流れできているので、こういう言い方しかできない。

学校教育部長 全国的な行革の流れもある。平成 2 0 年頃から 2 6 市は採用していない。そういう背景のもとに採用できなかった。

質問者 なぜ採用しないのか。

学校教育部長 職員数を削減していく流れの中で、行革大綱でもコストを削減するため、職員数を削減する項目がある。平成 9 年度には退職手当債を発行したこともある。人件費が多いということもあり、職員採用には慎重にしている。2 ～ 3 億円の買い物といわれている。そういうこともあって、小金井市も採用に踏み切れない状況がある。

質問者 熟練の調理員から委託の調理員に変わるだけと思われているか。委託

会社も真摯に取り組んでいるという話があり、ありがたいが、会社としては当たり前のこと。コストの削減となると人件費が削減されると思うが、安い賃金で働くのか。調理員が変わるだけという説明だと不誠実な感じを受けてしまったが、考え過ぎか。

学務課長 市の職員は、一般の調理師の給料1.68倍で高い。11か月で算出されている。見積を見ても劣悪とは思っていない。直営と委託では経費に差がでる。

委託業者は、小金井らしさを知らないので、直営の調理員が足りないところは補ってパートナーとして一緒にやっていきたいと思っているので、維持向上ができる。

質問者 具体的な決まったものを説明してくれれば、理解できる。今日の説明だともやもやとしてなかなかわかりましたという気持ちにはなれないのが、申し訳ない。

質問者 契約の中に、災害時の対応については、どう記載するか。

学務課長 プロポーザルをやるので、どう考えるのか提案を受けようと思っている。さらに、仕様書に載せて行きたい。

質問者 学校行事に協力することも書いているか。

学務課長 中学校の仕様書には載せてある。

質問者 退職者の不補充について、いずれ直営校も委託にならないか。

学務課長 採用しない方針があれば、そういうことが考えられるが、採用しないという方針もないので、その時点でどうなっているかということになる。

質問者 業者も決まっていないので、財政効果があるのか。

学務課長 予算を編成するうえで、業者から見積をとって算出している。

質問者 5年ごとの業者の見直しがあると聞いたが、保護者からすると、1年でも悪い業者は変えてほしいし、5年過ぎても良い業者は引続きやってほしい。給食については、子どもの命にもかかわるものなので、柔軟に対応していただけないか。

学務課長補佐 市の考え方では、単年度契約、継続した契約は5年が目安。もっと良い業者があるかもしれない。5年以下でも問題があれば契約しないこともある。再選定をしてもいい業者は残る。中学校の例では、業者が変わった学校が3校、変わらない学校が2校となった。

質問者 これからのこと、指針にも書いてある。どういう風に市民に提示して

いただけるのか。例えば、献立は栄養士さんに任せるとして、他のことで保護者や地域の有識者など参加できるのか。

学務課長 保護者がどう考えているかから始めたい。委託校の質が落ちていないか、向上しているか、こういう給食をすすめていったらよい、モニタリングをするなど、一緒に給食を見守っていくことを考えている。

質問者 良いイメージと思う。

試食会は、保護者の代表が参加すると思うが、おひとりではなく、公募するとか数を増やしていく等考えてほしい。

# 議 事 録

説明会の名称	新しい小学校給食調理業務の運営についての保護者等説明会 (第六回)
開催日時	平成25年5月18日(土) 10時00分～12時00分
開催場所	小金井市立東小学校 会議室
説明のため出席した者の職氏名	教育長 津幡 道夫 学校教育部長 天野 建司 庶務課長 関 次郎 学務課長 前島 賢 学務課長補佐 河田 京子 指導室長 河合 雅彦 指導室長補佐 神田 恭司
説明会参加人数	17人
説明会次第	1 教育長挨拶(津幡教育長) 2 新しい経営方法による小学校給食調理業務5校委託4校直営について(天野学校教育部長) 3 民間委託の考え方(前島学務課長) 4 学校給食の指針・牛乳のメーカー変更・保護者アンケート結果について(河田学務課長補佐) 5 質疑応答(説明員) 6 閉会の挨拶
説明会内容	別紙のとおり
配布資料	1 新しい小学校給食調理業務の運営についての保護者等説明会 次第 2 新しい経営方法による小学校給食調理業務5校委託4校直営に ついて 3 学校給食に関する保護者アンケート結果概要 4 小金井市学校給食の指針(参考資料)

## 【質疑応答】

質問者 牛乳について大変ありがたく思う。実際に飲んでいない子が120人いると初めて聞いた。私の娘も気にはしていたが、先生や友達のことを気にして、残していたが、飲むことになり喜んでた。実際に倍以上いたと思う。アンケートで牛乳がおいしくなくなったとあるが、最初だけで、慣れたらおいしくなったという声もある。牛乳はメーカーによって、味が違い、飲みなれているもののおいしく感じる。子どもは変わったことでおいしくなくなったと言う。個人の問題もあるので、ご心配いただかなくていい。

栄養士が替わった際に、前の栄養士の方がおいしかった。委託になってからまずくなった。というような声を聞く。味というのは、家庭での日頃の食生活が基準になっているので、判断基準にならないと思う。調理員の技術の問題に関しては委託になると心配になる。

献立に関しては栄養士が行うとあるが、栄養士が希望する献立に対し、調理員の技術がそこまで至らない。調理の時間も限られているので、調理員の技術に合わせた簡単な調理方法になる。実際に中学校ではどんぶりご飯が増えたと聞いている。

昨年、給食調理の見学に参加したが、大きな釜で500人分を作る技術はすごいと思った。委託業者で未経験の方がいると不安がある。

学務課長 献立に対して、調理技術が追い付いていないと、そういうことも実際ある。それは、直営でも民間でも同じ。直営の調理員を充実するし、委託も充実するという考えはある。

回転釜の話があったが、炊飯器が全校入っている訳ではないので、回転釜を使える業者を選定している。機械によって癖があるので引き継いでいきたい。

質問者 炊飯器に替えている学校もあるのか。

学務課長 炊飯器を導入している。なぜかというところ、おかずの方に回転釜が使えなくなる。炊飯器はほとんど導入し、二小、三小、南中、本町小は入っていないが、順次入れていく。回転釜のおこげがいいというお話もあるが、ご了承いただきたい。

質問者 説明の中でよくわからなかったのが、人件費について、一般的な調理員の金額と業者が公表している金額と同じであると考えているのか。業者に委託する場合もチーフは800万円程度で、他の調理員がもっと安いという理解でいいのか。

学務課長 言いたかったことは、公務員の給与は高いということ。公表している調理師の数字で1.68倍。業者は見積もりの段階では11カ月分の給与で計算している。公表されている平均くらいの額という印象。民間業者が人件費を極端に削っている訳ではない。

質問者 代行保証制度とは、よそから給食に代わるものを買って提供するのか。

学務課長 給食協会が代行保証制度を行っているが、そこから人が派遣されてくる。

学務課長補佐 突発的に委託業者の人が足りない場合は、会社の本部の方で対応する。

質問者 欠員が現在7名で、1名減ったのはなぜか。

学務課長 平成24年度の段階では9名の欠員であった。東小の子どもの数が減った影響で配置基準により欠員が減った。

質問者 年に1回の検査は抜き打ちで行うのか。

学務課長補佐 予め日にちを知らせている。  
栄養士はチーフを通して指示ができる。何回も調理室に出入りする。

質問者 中学校を委託した時に小学校は民間委託しないというお話であったが、小学校も委託されてしまった。確約はどういう形になっているのか。

学務課長 中学校の委託の時にそのような話はあった。行財政改革では学校給食の見直しがあり、委託という話ではなく、新しい経営方法を考えてきた。最終的には、学校給食を維持していくには5校委託4校直営という方針になった。

質問者 民間ということは利益を追求していくものであるから、小学校の調理員の減少で利益を追求する形にならないのか。  
東小で5人調理員がいるが、それを用務員にしてしまうことはあるか。  
市が調理員を5人でやると決め、そのうえで1人追加するという権限を業者に頼めるのかがわからない。

学務課長補佐 委託した業者がその学校に何人入るのか、こちらでは特に指示しない。

質問者 それでは事故に繋がるのではないか。

学務課長補佐 調理業務ができる体制を業者が配置していく。直営の職員配置よりは多い人数が配置されている。人数では指定しないが、その業務が滞りなく行えるような体制を取っていただいている。

質問者 事故が起こってからでは遅い。市でできないことを民間に委託するので、そこは市や栄養士の方で管理していかないといけない。検査も前もって言うのであれば、検査にならない。抜き打ち検査や回数を増やすなどしっかりしていかないといけない。東小なのでとりあえず問題はないが、中学校も最初2校委託から全部委託になったので、そういう不安はある。

学務課長補佐 現在、抜き打ち検査はやっていない。チェック体制については、小学校についても、どのようにやれば業者もやっていけるか確認をしていきたい。

学務課長 チェック体制について、今までは市の職員だけでやってきたのだが、何らかの形で保護者を含めたチェック体制、モニタリングみたいなものを考えていかなければいけないと思っているので、ご協力いただければ、保護者の方も安心できるのではと思う。

質問者 小金井らしさを残すために直営を残し、交流することで、小金井らしさを民間にも伝えるということだが、具体的なイメージがわからない。委託した職員が東小に研修に来るのか、どういう意味なのか。小金井らしさを残すための交流とはどうすれば実現すると考えているのか。

学務課長 具体的には、研修みたいな形で、調理器具や作り方の技術交流をしていきたいと思っている。あとは、集まりで済むものであれば、チーフと直営の調理員の代表が集まって、今までこういうことをやってきたということや、他地区の経験を交流していくこともある。直営でやってきたことはいっぱいある。4小のおにぎり隊など各校でいろいろ取組を調理員がやっているが、各校でやってきた小金井らしい独自のことを確実にそのような場で引継いでもらいたい。今までやってきたことを委託になったから知らなかったからできなかったということにならないよう引継いでもらいたい。

質問者 民間の調理員も入るのか。

学務課長 チーフが会社の代表なので、それ以上入れられるかわからない。会社の代表ということでチーフなら参加できる。チーフから調理員に広がっていけばいいと思う。直営でも代表が集まって行う会議があるので、それと同じ。

質問者 緑中で業者が替わったと聞いているが、その理由は。

学務課長補佐 中学校の方を委託してから5年が経過した。市の契約の考え方では基本は単年度で1年ごとの契約だが、継続した業者委託の場合は、一定期間同じ業者と契約できることになっている。中学校の業者について再選定した。一定の期間を過ぎると、今までの業者よりよい業者があるかもしれない。今までの業者も参加申し込みができ、よい業者であれば、引続き委託することもある。

中学校5校のうち、引続き同じ業者が3校、業者が替わったところが2校あった。

質問者 直接的な理由は、前の業者よりもよい業者があったからか。



学務課長補佐 プロポーザル方式と言って、安いだけの業者ではなく、いろいろな角度から評定をして、総合的に得点の高い業者に決まる。

質問者 業者が替わることによって、現場の混乱はないのか。

学務課長補佐 4月から急に変わることはなく、前年度に契約ができるような形で準備をする。今回は、3月に契約をして、業者にも準備を進めてもらい、実際に3月中に業者の引継ぎを行い、4月からスタートした。

民間の業者も調理に関しては、経験があるので、一つずつ料理を教えるのではなく、学校の設備の状況や物の配置など、引継いでもらう。メニューのことは栄養士が新しい業者と打合せをする。

質問者 さらにいい業者があれば、常に替わっていくのか。一つの業者が長年やって根付いていくということではないのか。

学務課長補佐 その期間が、5年が目安。市としては、同じ業者とずっと契約するということは、継続している業務については、前年度と同じ業者にできるということで5年を目安に替える。

質問者 直営校みたいに、味や作り方の小金井らしさを伝承されない状況である。調理員も替わってしまう。

学校教育部長 5年ごとに見直しというルールがある。それをやるひとつの目的はいい意味での緊張感である。業者としては5年ごとにちゃんとやらないと替わってしまうかもしれない。そのため、手を抜くようなことはできない。民間のノウハウや競争力を生かせるように、5年ごとにハードルがある。

継続は当然大事である。今までやってきた業者がいい業者ならそのままやっていただきたいということもある。

5年間の一定見直しの区切りは付けて、よりよい業者であれば、そこに行くかも知れないということ。小金井らしさを踏まえて5年間の見直しを行ったということ。

質問者 プロポーザルを行った場合、どの程度の業者が応募してくるのか。

学務課長補佐 中学校の例だと、応募があった業者が15社あった。提出していただいた資料を元に選考基準を沿って審査をし、15社のうち、得点の高い5社を選んだ。その業者については、二次審査ということで、プレゼンテーションとヒアリングを行い、再度評定をして、順位の高いところから決定した。

学校給食は衛生管理面でも厳しい基準になっているので、民間の業者にとっては信用に繋がっていく。今も問い合わせがある。そこからいい業者を選んでいきたい。

質問者 プロポーザルのところで、小学校も中学校と同じようなスケジュール

で実施されるということだが、どのような協定権に基づいているのか。

ここに市の公式ウェブほか周知とあるが、具体的な項目は公表されるのか。

数値化して総合点で決めるとのことだが、中学校の時と同じ基準を採用されるのか。それとも小学校独自で基準を作るのか。

学務課長補佐 基本的なところは、中学校の基準と同様に考えているが、小学校で特にやってもらいたいことを付け加えていきたい。評価項目については、中学校の例だと、大きく5項目、細かくは32項目について審査した。小金井市の学校給食の意義や特色を理解しているか、実績、経営状況、調理員の雇用について、従業員の教育などを積極的に行っているか、安全衛生管理をどう考えているかなど、そのようなことでやった。小学校のプロポーザルも基本的には同じ形で行いたい。

質問者 公表は全部されないのか。

学務課長補佐 どのような形で公表できるのかわからないが、皆様に選考したことがわかるような形で公表していく。

質問者 なぜ、その業者を選考したのか、評価項目を見ないとわからない。評価項目をチェックした後、何らかの方法で公開するとおっしゃったが、こちらが気にしているのは、どういう評価項目でチェックしているか、決める前にどういう項目があるか、その項目が適切か不適切なのか、私たちが満足するのかそうではないのか、そういうことが知りたい。

学務課長 項目を先に出すと、業者がそこだけやっておけばいいという可能性がある。難しいところではある。終わった後なら公表できる。

学校教育部長 先に出すと、業者がそこだけうまくやってということも考えられる。

質問者 それでも業者にわかってしまうのがまずいのであれば、5年後の評価項目はこれと同一の基準と限らないという形にするのは。

学校教育部長 皆様にお聞きしたい部分もあるので、お気付きのことがあれば、教えてほしい。

質問者 昨年から指針のパブリックコメントをやって、今回も牛乳が替わったり、アンケートを取っていただいたり、そこまでは丁寧にやっていただいて、信頼をしていた。今回の説明会でみんなの意見を吸い上げるところまではよかったが、各学校に説明会の予定をお知らせする段階で、すでに委託校が決定していたということが早急な感じがして、一気に不信感に陥った。アンケートを取って、その後十分な検証をしたとは思えない。昨年から委託の話は出ていたので、説明会を決定する前に保護者説明会をしてほしいという要望は申し伝えていた。9月の委託というのは時期早尚だと思う。

業者にしても、この春にも選定があり、それで年度途中になると、いい業者は年度初めに入ってしまい、年度途中というのは余力のある業者なら可能だが、年度初めの募集に漏れた業者が再募集してくることが十分に考えられる。年度途中というのは時期としてもいいとは思えない。今までの調理員に頑張っていたら、いつ事故が起こるかわからないのでそれを解消させたいという思いもあるが、今まで何年もきたのだから、来年の年度末まで頑張っていたら、きちんとした形を取ってほしい。やはり説明不足だと十分に認めていただきたい。平日昼間にしかでられない保護者もいる。ここにいる方はある程度いろいろなお話しを知っている上で来ていると思うが、突然聞いた方は何をどう動いていいかわからない。

来年の3月まで時間をかけて、年度の切り替わりで、考えていただきたい。それが切実なお願い。どうしたらそうしていただけるか考えていただきたい。

学務課長　　今まで調理ができていたから、これからは調理ができるという考えはできない。変わってきているという現状があることはお伝えしたい。

質問者　　そこは努力をしていただいて、なんとか検証する時間をいただきたい。

学校教育部長　　確かに、お伝えするのが遅れたというのは申し訳ないが、現場の職員と丁寧に考えてきている。一番危惧しているのは、現場の職員の健康や体制を気にしている。非常勤職員を含め頑張っているが、そのような状況がかなり厳しいこともある。残された時間もないと思っている。おっしゃることもわかってはいるので、昼間の時間の説明会も考えている。どうかご理解をいただきたい。

質問者　　どうしても9月からというのなら、もっと前倒しにして早く説明会とかしていただいた方が良かったと思う。

質問者　　5校を委託するのは5社にというお考えか。それとも5校を1社に委託するのか。

学務課長　　中学校の場合は1社2校まで。小学校はまだ検討中である。ただし、5校1社に委託するのはありえない。

質問者　　現場の職員と丁寧に議論し、子ども達のことも考えているのに、保護者にはぜんぜん聞いていない。委託することが決まったところからスタートしたのは温度差がある。説明会をするにしても、どのように流れがあって、この結論に至ったのか、もっとプレゼンテーションをしてほしい。

今日来てよかったことは、いろいろなことを考えてくださっていることがわかった。食材は今まで通りの方法で購入するということが安心した。

一番心配していたことは、大きな業者に頼み、大量一括仕入の食材だから、安かろう悪かろうとなるのが心配していた。そうではないことがわかり安心した。

子どもが東中に通っていて、民間委託が始まったが、まずくなったと感想があった。同じ材料でも調理の仕方で質が下がることもある。

抜き打ちの検査や、検査の回数を増やすなどしないと安心できない。

学校教育部長 貴重なご意見ありがとうございました。

# 議 事 録

説明会の名称	新しい小学校給食調理業務の運営についての保護者等説明会 (第七回)
開催日時	平成25年5月19日(日) 10時00分～12時00分
開催場所	小金井市立前原小学校 けやきルーム
説明のため出席した者の職氏名	教育長 津幡 道夫 学校教育部長 天野 建司 庶務課長 関 次郎 学務課長 前島 賢 学務課長補佐 河田 京子 指導室長 河合 雅彦 指導室長補佐 神田 恭司
説明会参加人数	53人
説明会次第	1 教育長挨拶(津幡教育長) 2 新しい経営方法による小学校給食調理業務5校委託4校直営について(天野学校教育部長) 3 民間委託の考え方(前島学務課長) 4 学校給食の指針・牛乳のメーカー変更・保護者アンケート結果について(河田学務課長補佐) 5 質疑応答(説明員) 6 閉会の挨拶
説明会内容	別紙のとおり
配布資料	1 新しい小学校給食調理業務の運営についての保護者等説明会次第 2 新しい経営方法による小学校給食調理業務5校委託4校直営について 3 学校給食に関する保護者アンケート結果概要 4 小金井市学校給食の指針(参考資料)

## 【質疑応答】

質問者 いつもおいしい給食に感謝。1年で入ったばかり。中学校にあがったお子さんと美味しくなくなったという話も聞く。もしそうならば委託に関係していないか。検証しているならお知らせ願いたい。

今回は価格競争ではないと言うが、プロポの中身によっては応募する業者は変わってくるのではないか。単純に安いところが入ってこないようにするなど網を張ることもできるのではないか。

中学校の味の件は栄養士、調理員、子どもの味覚の問題なのか、中学校の検証がプロポに反映できるのではないか。

学務課長 中学校は毎年検証しているが、検証結果を皆さんに隠している訳ではないが公表していなかった。学校のほうではアンケートをとったり検証している。お子さんからは小学校ほどではないが7割程度満足は頂いている。アンケートは教育委員会として取ったことがない。小学校から中学校になると大人の味付けになることや、栄養士が変わり献立も変化することもあるのではないか。嗜好の違いなども関係するのか。これからは定期的に調べて分析する必要があると考えている。今は良く聴く話でしか、回答できない。

プロポーザルで、あまりに低価格はおかしいのではないかと考える。提案の実現性や実績なども加味する。値段だけでは決めない。

それなりの金額で申し込んでくる業者が多いと見込んでいる。提案された内容がどこまで信憑性あるかは判断していく。安くていい、というところは無いと思っている。複数の会社が応募してくるので、一定の会社を選ぶつもり。ただ安いだけでは選ばない。

質問者 ただ安いだけでは選ばれないというのはわかった。自分はプロポーザルに参加する側の仕事しているが、業者さんがどれだけ安定して雇用していけるかが大事。検証については『こう思う』ではなく、中学がきちんと検証されてから進むべきではないか。

学務課長 検証についてはきちんとやっている。ただ、おいしい、まずいの部分は難しい。7割は満足していることは確認。検証に基づいてやっている。

学務課長補佐 中学校が委託されてから5年。この4月に再選定をした。その時もプロポーザルを行ったが、その時は大きく5項目細かくは32項目で審査をして総合的に点数が高い業者に決定した。学校給食の取組、安全衛生、業務遂行、信用情報、考え方などを評価し、中学校5校のうち3校が継続、2校が業者が変わった。小学校も同様に選考していく予定。

質問者 中学校で7割はおいしかったというのはどちらでアンケートをとったのか。

学務課長 学校でとったアンケートの結果である。

質問者           どこの学校のことか公表できるか。

学務課長       子ども達がやったアンケートなので。  
質問者           指針とか要項は、簡単に換えられないように条例にはならないのか。  
業務不履行の場合などでは、条例化してあれば強い指導ができるのではないか。

学務課長       指針はパブコメなどで意見もらってきた。指針は変えていく可能性もある。条例制定はそぐわないのではないか。  
                  条例にすれば確かに強い効力になるが、逆に動きが鈍くなってしまう。みなさんの目でチェックする方向で考えたい。仕様書による契約なので契約不履行であれば、契約解除はできる。

質問者           条例で安全を確保し、指針でそこに明記することはどうですか。

学務課長       おっしゃることはわかった。貴重なご意見として承る。

質問者           非常に丁寧に準備してもらっていると思うが、大きな変化になるので、変化後のプロセスについて聴きたい。極端に言うと無理だからやめようという話もある。評価のプロセスとタイミングなどについて聴きたい。

学務課長       保護者の方の目を取り入れていくシステムを（個人の見解だが）作りたい。ちゃんと給食を作ってくれているか、子ども達とふれあっているか、業者を監視して行くシステムを作って行きたい。  
                  皆さんが納得いただけるかどうか、というのもあるが保護者の皆さんと作っていきたい。ちゃんと給食を委託業者が作っているか、子ども達とふれあっているか、目が届くようなやり方を考えたい。これまで給食はあまり教育委員会でPRしてこなかった。見えることが安心に繋がる。

質問者           委託が進んだあと、子ども達や父母の声をあげていくのは大変なこと。声を吸い上げるプロセスを事前に整備していただきたい。そこで言える場が確約されていることで安心できる。

学務課長       大変重要なことだと思う。試食会含めて場の設定を考えていきたい。中学の時は、子ども達のアンケートは委託前後やっていなかった。今回はやる。保護者の方のアンケートもやっていきたい。検討する。

質問者           4月12日に組合と合意し、5月に説明会、9月実施は早い。保護者が無視されているのではないかと感じる。食べさせる大人の責任は大きい。中学校の委託の時に小学校は委託しないと聞いていたのではないか。4校直営は守られるのか。浮いた費用は食育関係以外に使わないという保証はあるか。作り手が違えば味も変わる。調理員が変われば栄養士も献立を変えないといけなくなるのではないか。

学務課長 4月12日に労使合意してから皆様へお知らせした期間が短かった。これまでもそうだったが、職員との合意が決まらないうちにそういう話を公表していくと、逆に混乱していくのではと思っていた。しかし皆さんが理解していただく時間が短いことは確か。短い中でも丁寧に対応したい。保護者の意見はないがしろにしていない。調理員は学校給食の現場の最前線で仕事をしている人たちで保護者の方の立場も踏まえて議論してきたつもり。今後今までできていなかった部分については給食を見ていくことを一緒にやっていただきたい。

質問者 中学のときには小学校を委託しないといていた。

学務課長 第3次行財政改革も委託ありきで始まった訳ではないことをご理解頂きたい。しかし現状を鑑みると5校委託していかないと給食を維持していけないということ。4校直営は我々としては新しい経営方法として小金井らしさを守る為に維持したい。

採用が困難な状況は間違いないが、しばらくは定年退職者もなくこのままの体制は続けられるのではないかと考えている。支障がありそうなときは支障がないように対応していきたい。4校維持を続けていきたい。

予算は議会の議決が必要。中学校の財政効果も細かくチェックされている。今後どのような改善ができたというのでもPRしていかないといけないと思っている。

質問者 なぜ4月ではなくて9月なのか。

学務課長 これは職員の体制の問題。職員が休んだ時の突発要員として以前は14校で2人で対応していたが、今は9校で3人で対応している。

このままでは事故なども考えられるため、急いでいる。早く安定して働いてもらいたい。

質問者 委託自体が問題とか考えていない。よく考えられているのはわかったが、スケジュールに関してはびっくりで、理由はわかるが、市民が意見を言って反映する時間がない。

「おいしい給食」とあるが、おいしさが詰められてない。

中身がない。7割満足でも3割は不満。そこをしっかりと追及すべき。財政効果は4000万円と聞いたが来年から何にどう使うのかなど、明確にしてほしい。本当に4000万円も生み出せるのか。あと、何故こうなったのか、を伝えるべき。

ノウハウの継承は長く続けて行ってほしい。できる限りのことはやってほしい。採用の問題は技能職員をとらないことが理由だと思うが、都などの方針にあらがえるのかそうでないのかなどしっかり言ってほしい。これはあらゆる問題に通じていく話。

味などは人のノウハウの問題。紙でできるものではない。やれることとやれないことはあると思うが、できることをやってほしい。



学務課長 確かに味については簡単に書いているが、実際は難しい。教育委員会としても何をもっておいしいかは詰めていきたい。

財政効果は中学校の時もそうだったが、最初に試算したお金をずっとつけてもらっている。小学校もそう要望したい。

財政効果は実際すぐに効果が出る訳ではないが、財政計画には一小と本町小に強化磁器食器を導入したい。

学校教育部長 お伝えしたのが遅くなって申し訳ない。決して安易に考えてきた訳ではない。毎日子ども達と話している調理員と話合ってきた。9月から体制を整えてやっていく決断をした。

財政効果については、実際すぐに効果が出るわけではないが、財政計画で一小と本町小の強化磁器食器の導入を計画していきたい。

文科省、総務省から通知がきている。技能労務職は多摩26市でも採用できていない。小金井市としても官と民で組んで子ども達においしい給食を提供していきたい。今職員は非常勤も含め頑張っている。現状採用については回答できないが4校直営は残したい。

質問者 昨年より色々ご尽力頂いていると思う。市民の声を取り入れようとしているのも伝わる。しかし3つ気がかり。財政面。4000万円をどう配分するかはまだ見えない。食器導入は一時的な投資で、中学校の浮いた財源もあるはず。給食だけではなく教育全般に使われるということでその内容を知りたい

味は文化を作ると思う。小金井の給食は評価されていて誇らしい。味の検証、文書では伝わりにくいもの。同じ材料で同じように作っても微妙な加減がある。

今の味の再現をできるようプロポーザルの段階で今の給食を業者に食べてもらおうとかはどうか。

検証報告をみて、栄養士からの指示が難しいということがあがっている。

例えば、ジャガイモが入荷されないため、ポテトなしのポテトサラダになったり、調理過程で卵を全部混ぜてしまい別のアレルギー食を急遽つくったということがあった。緊急事態の時に栄養士が動きやすい体制にしてほしい。

アンケート結果の満足しているというのをどうとらえるか。委託している学校、委託していない学校のアンケートの比較など、今回は評価をするチャンス。

学務課長 アンケートについてはおっしゃるとおり。また、財政効果の件は中学校の経費も入れながら施設の改修なども最優先にやっていくつもり。中学の委託の効果で、小学校の強化磁器食器の導入や設備は改善してきた。財政状況が厳しく新しい予算が取れないので、教育全般に買わせる財源があれば回していきたい。

味の伝承については、調理員さんたちの交流をイメージしている。直営の調理員が継承してくれると思う。

プロポで食べてもらう件は、検討させてほしい。

- 学務課長補佐 緊急のときはその場で判断して指示が出ると思う。
- 質問者 校長を通さなくてはいけないのか。
- 学務課長補佐 給食の責任者は校長。
- 質問者 判断に時間がかかってしまうと対応が遅くなるので、栄養士さんが動きやすいシステムにしていただきたい。
- 質問者 安全の衛生管理は教育委員会の責任で行う、マニュアルがあると聞いたが、マニュアルがあるから安全というのは厳しい。現場で監視するような体制をとっていただけでないか。調理員の指示ができるなど、現場のチェックが取れる体制が必要。アレルギー面の作業ミスなども想定して、経験のある方を置いていただきたい。
- 学務課長補佐 業務を随時チェックする見張りを付けることは困難。栄養士が気付いたことはお伝えする。1年に1度直営の調理員がはいって現場視察として1日の作業をしっかりチェックする。回数ややり方については検討していく。
- 質問者 引き継ぎの方法は。
- 学務課長補佐 引き継ぎ期間がある。調理器具などの使い方、特徴を伝えていく。小金井のやり方を伝えていく。
- 質問者 中学校のアンケートで7割満足と説明していたが、3割に満足していないのに市の姿勢として問題ではないか。  
委託をしないと給食の維持ができないという言い方も脅しのように聞こえる。  
業者に長く続けてもらうことで、小金井らしさも伝えていける。民間業者は、突然撤退したり、つぶれることもある。その担保はどうなるのか。翌日からの給食はどうするのか。納得できるものを提示されないと不安はぬぐえない。  
最悪の事態を想定して、考え直した方がいい。  
財政的な事情はわかるが、子ども達には予算を優先的にさくべきで、リスクを考えると財政効果と天秤にかけることではないと思う。
- 学務課長 中学校の給食がまずいといううわさが多いので、強調してしまった。7割は多くはないとは思っている。また、委託しないと給食が維持できないというのも実態を知っていただきたい脅しているわけではないがお詫びする。  
民間業者で、代行保証制度という保険に入っている業者を選ぶ。業者に何かあった場合、全くできなくなるというわけではない。

質問者 食べ物が提供されるというだけで、昨日までの小金井らしさは保証され  
ないですね。

学務課長 おっしゃるとおり。その時点からプロポーザルで新しい業者を決める  
ので、3カ月はかかる。その間どう小金井らしさがだせるかどうかは考  
えなければならない。ご意見はわかった。

中学校でも検証してきたので、直営でなくても一定のことはできると  
考えている。予算を割くという考え方ではない。

質問者 新しいことをやるときには、パイを増やすとか考えたほうがいいので  
はないか。

学務課長 ご意見としていただく。

質問者 説明会ででた要望、意見など、フィードバックしていただかないと、  
もやもやしている。

中学校の子どもがまずいという。不安である。給食は大事。安心して  
すすめられるように説明してから進めていただきたい。

学務課長 議事録を公開する。質問で答えのでもものは、説明会か紙になるのか  
いずれかの方法で、お返ししていく。

# 議 事 録

説明会の名称	新しい小学校給食調理業務の運営についての保護者等説明会 (第八回)
開催日時	平成25年5月19日(日) 14時00分～16時00分
開催場所	小金井市立本町小学校 多目的室
説明のため出席した者の職氏名	教育長 津幡 道夫 学校教育部長 天野 建司 庶務課長 関 次郎 学務課長 前島 賢 学務課長補佐 河田 京子 指導室長 河合 雅彦 指導室長補佐 神田 恭司
説明会参加人数	15人
説明会次第	1 教育長挨拶(津幡教育長) 2 新しい経営方法による小学校給食調理業務5校委託4校直営について(天野学校教育部長) 3 民間委託の考え方(前島学務課長) 4 学校給食の指針・牛乳のメーカー変更・保護者アンケート結果について(河田学務課長補佐) 5 質疑応答(説明員) 6 閉会の挨拶
説明会内容	別紙のとおり
配布資料	1 新しい小学校給食調理業務の運営についての保護者等説明会次第 2 新しい経営方法による小学校給食調理業務5校委託4校直営について 3 学校給食に関する保護者アンケート結果概要 4 小金井市学校給食の指針(参考資料)

## 【質疑応答】

- 質問者 将来的に4000万円浮くはずだという意味か。
- 学務課長 給食に係る費用のことでどれだけ差が出るかで考えている。
- 質問者 市全体として、すぐに効果がでてこないということか。
- 学務課長 すぐには出てこないが、中学校の委託も同様で、食器や備品を変えたりしてきた。
- 質問者 小金井市全体としてメリットがあるかないか伺いたい。
- 学務課長 すぐに効果がでるわけではない。採用しなくて済むことは大きなメリットである。
- 質問者 小金井市が財政が苦しいとのことで、市全体のメリットがあるかどうか。
- 学校教育部長 市財政全体のメリットはあまりないかもしれないが、浮いた財源を給食や子ども達に使えるから、メリットとなる。また、今回の改革は、財政効果だけでなく、質の維持、体制の立て直し、持続可能な給食を提供したいと考えているので理解してほしい。
- 質問者 良く理解できない。現状と変わらないと言われるが、変わらないことを保証するのか。  
業者が栄養士にする報告が本当に正しいのか。栄養士、校長先生の検食でダメだったときにどうするのかチェックする仕組みは。その管理コストがかかるはず。報告や食べただけでは指示書通りに作っているかわからない。きちんとした仕組みがないと安心できない。仕様書なりに入れていただかないと安心できない。大丈夫だと言われる担保が具体的に示されていないので、とても心配。
- 学務課長補佐 中学の例だが、日々監視をすることはできない。日々のチェック表を学校長に提出する。1年に1回、調理員、栄養士、事務局の職員での現場視察を行っている。気になる点があれば業者に改善を依頼する。抜き打ち検査ではない。回数ややり方は検討できる。
- 質問者 コストは含めて計算されているのですね。
- 学務課長 コストはかかっていない。書類を出してもらったり、自分たちで視察をしている。
- 質問者 かからない程度しかチェックしていないということか。

学務課長 調理業務を委託しているの、仕様書に基づいてやっているの、や  
ってなければ契約違反になる。

質問者 契約違反になるかどうかをチェックする体制があるのか。損害賠償を  
追及するにも証拠がないと請求できない。日々管理する体制がないと。

学務課長 どういう部分で事故があったのかはわかると思う。

質問者 わかることなら問題ないが、どういう事故が想定されるのかもわから  
ない。

学務課長 例えば、食中毒などでは、原因を追及していかないと様々な要因があ  
る。直営でも同じ。市が責任をとる。業者の責任とわかれば、追及する。

質問者 わかるためのしくみはないのか。具体性がないと。

質問者 監視カメラを付けるとか。

学務課長 委託なので、仕様書に沿ってやってもらう。基準を守ってやってもら  
う。業者も研修をやっている。疑ったらきりが無い。プロポーザルでも  
確認する。あとはチェック体制になるが、常時のチェックは難しい。何  
かあった時は、直営も委託も同じで、調査しないとどこに原因があるか  
わからない。ただ、責任は市が持つ。そこだけは理解してもらいたい。

質問者 相手を信頼するというような甘い話ではない。営利目的なので損害賠  
償をいわれないようにいろいろなことをする可能性がある。何か起こっ  
てからでは遅い。今までと同じだから大丈夫というのなら、担保するし  
くみを示してほしい。でないと安心できない。

いきなり出てきた話で、そういうしくみが整っているようではないの  
で心配。本気でやるなら、管理のためのコストをかけてでもやるべき。  
食器にかけるのもいいが、日々の食べるものの安全が第一と思う。食器  
のために5校を委託にするというのはおかしいと思う。

説明が伝わらない。時間をかけて説明してほしい。

質問者 一校の保護者。牛乳の変更のお礼。自分の子どもも牛乳をやめていた  
手を尽くしてくださりありがたい。

暑い時に新しいことが始まるのが、バタバタと進むのが心配。業者  
選びについて、保護者も勉強している方も多く、いろいろなアイデア  
をだしてもらったほうが良いと思う。

牛乳がおいしくなくなったという意見があったそうだが、そんなこと  
はない。周りの子もおいしいと言っている。給食は味覚を育てるという  
意味もあると思う。おいしい牛乳を飲んでほしい。低温殺菌までは無理  
だったのかなと思った。管理が難しいのかと思う。

業者のしくみがわからない。どれくらいの規模でどういう会社が受け  
るのか。賃金の低い労働条件で同じことをやっていただくのは心苦しい。

働く方のお給料はどこから払われるかという仕組みのことを説明してほしい。

学務課長 業者の規模は様々。  
業務責任者と副業務責任者が正社員。あとは、パートさんもいる。一般の調理師の平均より市の調理員の方が1.68倍給料が高い。業者から見積をもらっているが、平均の給料と変わらない。また、1年間で11カ月分を見積もりしてくるので、その辺も差が生まれるのではないか。極端に低い賃金ということはないと思う。パートも1000円くらいの単価で募集しているのを見たことがある。

質問者 中学校で働いている人はいくらもらっているか。

学務課長 実際にいくら支払われているかは、市が知るところではない。

質問者 調理師というのは、世の中の一般的な調理師ということか。

学務課長 給食に限らず一般的な調理師のこと。

学務課長補佐 人数は、特に契約で定めていない。だいたい市の配置基準よりは多いと思う。急なお休みがあっても対応できるように人を配置している。足りない場合は、会社から応援にくる。社員とパートの割合も会社によっても違う。社員の条件も会社によって違うと思う。

質問者 中学校を委託している業者は、どういう規模の業者か。

学務課長補佐 業者選定の中学校の例では、業者を募集し15社の申し込みがあった。いろいろな項目でチェックし、総合的に高い点数の業者に決める。書類審査で5社に絞り、プレゼンテーションとヒアリングをし、選定した。

学務課長 規模については、何とも言えないので、業者名をいう。  
一富士フードサービス（二中・東中）、メフォス（一中・南中）、東京天竜（緑中）。4月から変わったのが、東中と緑中。3月までは2校ともシダックス。

質問者 牛乳は、変更してもらい、子どもに飲ませることができた。指針もパブコメをやっていただいていい指針になったと思う。

欠員不補充の話があり、保護者も意見を言うだけでなく、調理にかかわらないお鍋を洗うボランティアなど、休みのときに手伝いにいくとか声をかけてくれれば協力できることは協力したい。

直営維持の保証があるのか。組合の納得のための直営残しのような感じがする。

学務課長 お手伝いいただける件は、気持ちはありがたい。  
調理の部分は、回転釜などは専門的な技術が必要なので、難しいと思う。

直営の維持について、直営調理員の必要性は感じている。中学校も検証し今までやってきた。何十年先のことはわからないが、今言えるのは、このあり方でやっていきたい。委託・直営と区別する傾向があり、委託は信用できない、まずくなつたとか言われるが、パートナーとして考えているので、一緒にやっていきたいと思っている。

質問者 4校は残すのか。

学務課長 残す。

質問者 9月の委託は早すぎる。調理作業は見ることはできない、業者が設備を整える時間もないと思う。保護者も意見を言うタイミングがない。納得感がない。丁寧に説明をする時間をとってほしい。

原発事故から2年経ち、放射能測定134と137が変わってくる。経年変化とともに下限値を見直しして心配している人を安心させてほしい。

質問者 一年保護者。給食がおいしいと喜んでいる。突然委託の話聞いてがっかりしている。委託になっても今の給食を維持してほしい。

引継の具体的なスケジュールは。

中学校では、協議会が開かれていると聞いたが、小学校でも保護者が意見を言えたり検討する場はあるのか。

学務課長 運営協議会の話。委託校には、協議会を設置する。ただ、保護者3名しか参加できないので、広く保護者の皆さんの意見を言えるように給食全体をみていけるようなシステムをつくりたいと考えている。PTAに声をかけるとか。今まで給食がみえてなかった。良く見える給食にしたい。

学務課長補佐 引継について、今回の日程だと、調理作業を見るタイミングがない。調理器具の使い方やコツなど、ものの配置、一日の流れ、ごみの出し方等調理員から引継をする。日々の調理は、日によって献立も変わるし、栄養士を通して指示する。委託後も直営の調理員が見守っていくことを考えている。

質問者 いつ頃か。

学務課長補佐 実際に業者が決まってからになるので、8月となる。子どもに提供する前に試食会を考えている。

質問者 直営から委託業者への引継をしっかりとっていただきたい。業者も複数入ると思うので、小学校の給食を守っていただけるよう連携をしてほしい。

次は、保育園の委託を考えているか。

学務課長補佐 一定期間が経過したので、再選定した。申し込みのあった業者から大



きく5項目、32項目、学校給食の特色と意義、実績、経営状況、調理員の雇用、調理技術をもった従業員の有無、安全衛生管理の考え方、社員教育等総合点の高い業者と契約した。業者が変わった学校も、学校から業者をかえてほしいという意見があったというわけではない。

学校教育部長 教育委員会なので、保育園のことはお答えできない。

質問者 委託校の保護者。委託校のメリットは何か。  
浮いた財源を子ども達に還元とあるが、具体的に教えてほしい。  
行事食が増えるといわれたが、子どもに説明するとき具体的にどう説明したらよいか。

学務課長 優先的に考えているのは、一小・本町小の食器のこと、学校に必要なプランの費用などがある。調理員の体制の充実があるが、子どもには見えにくい。直営と委託と差はないと考えているので、委託校のメリットといわれても難しい。特色がでるのは良いが、委託校の良さをアピールするのもどうかと。

質問者 行事食やセレクト給食は。

学務課長 それは、直営でも委託でも充実させたい。直営の体制が厳しい。バイキングやセレクト給食など手間がかかるのでなかなか取り組めない。体制を充実させ、直営を安定させて直営の力を発揮してもらいたい。

質問者 委託業者の入札は5年ごとか。

学務課長補佐 重大な理由があれば、契約を更新しない場合はあるが、5年間継続して契約できるというのがあるので、業務をきちんとやっていただければ5年ごとに見直すということになる。

質問者 人を大切にしてほしい。調理員の待遇などを業者に情報提供として求めてほしい。

残された栄養士のこと、いっしょに調理して現場を学べた。委託すると事務作業が増えると聞いた。栄養士を守るために、仕事をしやすい環境に力を入れていただきたい。

質問者 6月にプロポーザルの周知とあるが。

学務課長補佐 業者募集の記事がでる。募集要項を公開する。

質問者 プロポーザルについて、国分寺の例もある。公開できる部分は、公開してほしい。

学務課長 市全体のこともあるので、検討させてほしい。

質問者 具体的な数字や資料をだしてほしい。いいところだけではなくしくみを知りたい。わかりやすい資料を保護者全体に周知するようにしてほしい。

学務課長 はっきりわかるような形にして公表していきたい。

学校教育部長 詳細な財政効果の計画については、予算編成にかかわるもので、教育委員会だけでは決められない。

説明会については、お伝えが遅くなって申し訳ない。安易に考えていたわけではない。現場の調理員といっしょに考えてきたことはご理解いただきたい。

# 議 事 録

説明会の名称	新しい小学校給食調理業務の運営についての保護者等説明会 (第九回)
開催日時	平成25年5月20日(月) 19時00分～21時00分
開催場所	小金井市立小金井第一小学校 ミーティングルーム
説明のため出席した者の職氏名	教育長 津幡 道夫 学校教育部長 天野 建司 庶務課長 関 次郎 学務課長 前島 賢 学務課長補佐 河田 京子 指導室長 河合 雅彦 指導室長補佐 神田 恭司
説明会参加人数	42人
説明会次第	1 教育長挨拶(津幡教育長) 2 新しい経営方法による小学校給食調理業務5校委託4校直営について(学校教育部長) 3 民間委託の考え方(前島学務課長) 4 学校給食の指針・牛乳のメーカー変更・保護者アンケート結果について(河田学務課長補佐) 5 質疑応答(説明員) 6 閉会の挨拶
説明会内容	別紙のとおり
配布資料	1 新しい小学校給食調理業務の運営についての保護者等説明会次第 2 新しい経営方法による小学校給食調理業務5校委託4校直営について 3 学校給食に関する保護者アンケート結果概要 4 小金井市学校給食の指針(参考資料)

【質疑応答】

質問者 給食調理員が欠員補充されないのはなぜか。

学校教育部長 文科省から通知がきている。全国的にも技能労務職の職員採用は困難。26市でも同様の状況がある。

質問者 都の方針か。

学校教育部長 国の方針である。

質問者 採用することによって、東京都の補助金が交付されないのか。

学校教育部長 補助金の話は確認はしていない。

質問者 わかるように説明してほしい。

学校教育部長 持ち帰ってお知らせする。

質問者 保育士や学童指導員は補充されているのに、調理員の不採用の理由は。

学校教育部長 全国的な流れであり、採用できないという方針はないが、第三次行財政大綱の職員人員計画の中で挙げられている。

質問者 改革大綱には、保育士、学童も入っている。

学校教育部長 入っているが、特に全国的にも技能労務職に対しては厳しいものがある。

質問者 いつまでに回答いただけるのか。

学校教育部長 我々だけでは回答できないので、持ち帰らせてほしい。

質問者 どういう形でか。

学務課長 いずれかの形でお知らせする。  
説明会を開くのであれば、お知らせする。

質問者 説明会ではなく、報告会となっている。4月からでも良いのでは。説明会をして検討する時間もない。説明会と言われてもこれでは保護者をバカにしている。納得できない。職員団体と合意したからといって、なぜ9月にやらなければならないのか。

学務課長 おっしゃることはわかる。時間がない中でも、丁寧に対応したいと思っている。

体制的なところで急いでいる。調理員の体制が厳しい状況である。フリーの職員が以前は14校で2人、今は9校で3人としている。さらに学校間で応援体制を組んでいる。このまま続けられない現状もある。

もちろん時間があれば理解していただけたらと思うが、小金井らしさを失わないためにも9月の実施に向けご理解いただきたい。

質問者

自分達の怠慢で人員確保ができず、9月にやるとしか聞こえない。

小金井らしさが失われるというのが、急いであったかい給食だけを出せばいいということだと思う。検討する時間をもった方がよい。プロポーザルの審議も、癒着があるかみたいなことで、父母の参加ができないとすることで、保護者を無視している。民営化に向けて話をしていきたいと言えれば納得できると思うが、賛成、反対以前に保護者も勉強したり、現状を確認したいし、決まったことを説明されても納得できない。

予算についてわからないというならば、市のわかる人を連れてきてほしい。白紙に戻せとはいわないが、せめて日程を見直してほしい。

学校教育部長

報告が遅れたことは、申し訳ない。平成22年から子ども達と直接接している現場の調理員と協議を行ってきた。安易な気持ちでお伝えしているつもりはない。体制は市の責任とおっしゃるのはわかるが、職員採用についてはひとり2～3億円の買い物と言われるほど、慎重に行わなければならないことである。平成9年度には退職金の借金もした。苦しい財政状況を理解してほしい。

質問者

理解はしているが、これで終わらせてほしくないし、人件費が高いのもわかるが、調理員は必要な人材だと思う。そういう事を含めて再度検討するべきと思う。

質問者

スケジュールが差し迫っていて、業者から足元を見られたりして、優良な業者を選べるのか。中学校では業者がいくつ入っているのか。公募した場合にどのくらい募集があると予想されるか。

学務課長補佐

この4月に中学校の業者の再選考をした。中学校の例では15者、書類選考で5者に絞り、二次審査でプレセントヒアリングを行った。いろいろな業者があるが、学校給食は安全基準が高く会社の実績になる。申込は同じくらいあると思う。業者からは問合せもある。

中学校の時は、大きく5項目、32項目の選考基準で総合点が高い業者に決まった。小学校も同様に考えている。

質問者

5年たって入替ったのか。

学務課長補佐

5校とも一旦契約は終了し、引続きが3校、業者が変わった学校が2校。

質問者

業者数としてはいくつか。

学務課長補佐 中学校は3社、4月からも3社。一社2校までとしている。  
引続き採用されたのは、2社ある。

質問者 調理員の入替りがあったのか。

学務課長補佐 数字はないが、変わる場合は、市に報告があるので、資料として出していきたい。委託当初は、入替りが激しかったと聞くが、去年は若干の入替りがあるが、業務に支障はない。

質問者 できれば、勤続年数とか3年以上続いている方がどのくらいいるのかとか具体的に知りたい。

質問者 不補充の方針が変わらなければ、全ての学校を委託するのか。

学務課長 今は、新しい形でやっていきたいと思っている。絶対採用しないという方針もない。しばらくの間は定年退職もない。退職者の補充は、その時点での情勢によって左右されるかと思うが、教育委員会では維持したいと言う思いでやっている。

質問者 全世帯に配布された文書に「直営を維持します」と書いてあることが問題ではないか。保護者は約束されたと思う。無責任。直営校は残るとしかわからない。説明が不十分。

学務課長 直営は維持したい、支障がない様に考えている。

質問者 考えはわかるが、伝わらない。「今は不補充です、将来はわかりません」と書いてもらった方がわかりやすい。どうするのか。

学務課長 将来的な話をされていると思うが、

質問者 前の説明会で5年とおっしゃったが。

学務課長 定年退職もいないし、維持すると言いきる。

質問者 定年以外にも退職はある。その場合は、補充するのか。

学務課長 支障のないようにする。

質問者 維持は4校なのか。1校なのか。

質問者 今回で委託は終わりと考えているか、いずれは他校もと考えているのか。それによって歩み寄り方も違う。

学校教育部長 人事のことなので、教育委員会としては答えに限界があると思っている。新しい経営方法として話し合ってきて、その成果をださなければ

ならないと考えている。教育委員会では4校直営を維持し、支障のないようにしていく。

質問者 小金井らしさを守っていくのは賛成だが、教育委員会の考えが市につぶされることがあるのか。市の方針ではないのか。

事情があるとは思いますが、4校守るという市の考えがあるならば、他市の状況があっても市の方針でだすところではないか。

学校教育部長 現場の職員と話をしている。この説明会も市長を含め話をしている。

質問者 市の方針か。

学校教育部長 市の方針である。

質問者 揺らぐのはどういうことか。何十年も先はわからないが、市の方針として維持していくとだすべきなのではないかと私は考える。

市の方針としてだすべきではないか。

質問者 5年間の中学校委託の総括も知りたい。いい面、問題のある面は。今回1社落ちた理由は。

学務課長 中学校の調理業務については、満足している。委託業者は、小金井の機器に慣れていない。変わった時に調理がうまくできないことがある。今いる調理員には、機器の使い方など引継をし、委託が始まってからも回ってもらう。研修のような形で、定期的に交流をして、調理のやり方などを伝えていく。

質問者 中学の時は交流はあったのか。

学務課長 中学の時は交流はなかった。

質問者 その研修のような形は、実現できる話なのか。今後検討したいということか。

学務課長 仕様書では、市の研修に参加することとなっている。今後は、やっていく。

質問者 衛生面はどうか。食材に関してはどうか。

学務課長 食材については、栄養士が発注する。

質問者 納品された後のチェックは調理員がやるのか。

学務課長 当日納品なので、納品後のチェックするのは委託会社の調理員。

質問者 委託業者を今から募集するのなら、9月委託だとパートやアルバイトがほとんどではないか。

学務課長 業務責任者は学校給食3年以上、副責任者は学校給食1年以上、その他は調理師免許を持っている方。仕様書に書いてある。

学務課長補佐 今中学校の調理員は、調理師免許または栄養士免許を持っている。一人だけ資格のない方がいる。

質問者 全員で何人くらいか。ばらつきはないか。

学務課長補佐 直営の配置より多く配置されていることが多い。5校で34人。

質問者 食材については、問題ないか。

学務課長 問題があったときは、栄養士に伝える。見逃すということはない。

質問者 一社落ちた理由は。

学務課長補佐 その会社のグループ会社から応募があった。プロポーザルではそのグループ会社よりも総合評価がより高いところがあった。  
学校から委託業者をかえてほしいという話は特になかった。

質問者 南小の説明会に出た。2年の保護者。他の人から中学の時のことは聞いた。中学の時は小学校は委託しないと聞いていたと聞く。

行政への不信がある。先日原乳に福島産が入るとプリントがあった。3.11以降国産でも安心できない材料、安全性が問われるなか、平気で子どもが食べるものに使われる。ごみの問題、リースの問題、解決していないことがたくさんある中で、突然民間委託する。まさに報告会ではないか。閲覧用の資料も持って帰れない。何回もやっているのに説明をする気があるのかどうか疑問。

コスト削減の事情があるのなら、子どもの食物に関することを減らす前に、駅前にあんなビル建てなきゃいいし、市の職員の給料を減らすべき。

市への不信感があるから不安。情報を出していれば、こんな風にならなかった。9月からどうしてもやるなら、情報を出し続けるべきだ。

業者の決定について透明性をもっていることを確認できるか。プロセスにかかわっていくことはできるか。

アレルギーについて、委託後の対応はどうなっているか。誰が責任取るのか。

給食は壊れちゃいけないもの。委託後の安全装置はどうなっているのか。

学務課長 利害関係にある人は選考には加われない。選考には保護者は加われない。



い。本市では公開型のプロポーザル実施していない。今はそういった形で考えている。

アレルギーについては、プロポーザルでアレルギー対応食の実績のある会社を公募する。作業動線も栄養士が確認する。

質問者 委託先で突然会社の人が出て、うっかりしていたと間違いあるかも。間違いが絶対ない仕組みなのか。

学務課長補佐 アレルギーに関しては細心の注意を払う。大きな名札をつけてやっている会社もある。アレルギー事故が起きてあってはならない、十分注意している。委託会社だからできないとは思わない。  
直営・委託にかかわらず、細心の注意を払っていく。

質問者 何が何でも9月にやるのか。

学務課長 9月にさせていただきたい。

質問者 市長や予算のことを応えられる方を連れて、説明会を再度やった方がよい。

質問者 なんで4校委託なのか。任用替え10人ときいている。調理員が一人前になるには5年かかるときいているのに残念。

学務課長 15名調理員が残る。小金井らしさの伝承ができると判断する。

質問者 事務職に任用替えしてちゃんとやれるのか。賃金にみあった仕事をしてもらえるのか。どんな仕事をするのか。財政効果は出るのか。

庶務課長 まだ正式決定していないが、用務など他の現業職もある。  
事務職に移る場合、新入職員のように研修していく。

質問者 もっと段階的に委託でもいいのではないかと。もったいないことをしないでということ。

庶務課長 ご意見として承る。

質問者 真剣に考えてほしい。市の職員は、プロフェッショナルなのだから。5年かけないと一人前になれない。人材を活用してほしい。

質問者 指針にあるが、市民参加の仕組みづくり、9月に委託するならどんどんすすめてほしい。審査の段階、業者との打ち合せなど、口はだせなくとも傍聴できるとか。見せられるところは見せてほしい。見えなくなることがこわい。見える仕組みづくりを考えてほしい。これで終わりにせず、場を設けてほしい。

学務課長 仕組みづくりについては委託が始まった後のことは考えていた。どんな組織をつくるかという計画の段階から保護者の意見をいただいてやりたいと思っていた。今ここで組織をつくるということではなく、委託後そこから保護者の皆様のご協力をいただきたいという考えでいる。

質問者 学校給食運営協議会が委託校だけだと、一小の保護者は何もいえなくなる。直営の保護者にもすごく関係ある話。直営のリスクもある。体制のことや調理員さんのモチベーションを維持していけるのか心配。おいしい給食をつくっていただけるのか、ほんとに直営がいいのか、直営校の保護者もいろいろ思うところはあるので、直営校でも協議していただける場をつくってほしい。

質問者 指針だけでなく、説明会の資料でも「保護者の参加によるしくみづくりを検討」と書いてある。この説明会のやり取りをふまえてどうしていくか考えていただきたい。

学務課長 ご意見として受け止める。

質問者 新しい経営方式の見直しに、市民参加はあったのか。  
プロポーザルを市民に公開しないのはなぜか。  
資料が古い。現在の体制 人数などがわからない。  
中学の検証を公表しなかったのはなぜか。  
急いで委託すると、時間が足りずバタバタと進み引継がされて、後で苦労するのではないか、全体のレベルが下がるという不安がある。  
また、小金井らしさって何か。あるとしたら、どういうふうに市民参加でつくってきたのか。

学務課長 見直しには市民は参加していない。気持としては、現場の調理員と相談してきた。  
検証結果を公開しなかった理由はない。申し訳ない。これからでも公開したい。  
プロポーザルの公開はこれまでしたことがない。

質問者 できるだけオープンにしてほしい。この場で話をせきとめしないで、持ち帰って相談してほしい。

学務課長 やるとしたらプレゼンのみ公開になると思う。  
職員体制などの資料はウェブに公開する。

質問者 資料は全部出した方がよい。プロポーザルもオープンにしたほうが良い。なおかつ、セーフティネットがこれだけかかっていますと説明して、初めて話を聞ける。

質問者 素朴に正社員が4人いたのが委託の仕様書では2人でいい根拠がわからない。それが小金井らしさにもかかわるのでは。

学務課長 小金井らしさの資料も出しましょう。

質問者 市民参加条例、情報公開条例についてはどう考えるか。組合との協議も、オープンにしたほうが良かったのではないか。

質問者 委託の補正予算はいつだすのか。

学務課長 6月の定例会で出す。

質問者 説明会が終わって保護者の理解がえられたとするのか。

学務課長 説明会が終わってない段階です。

質問者 市民参加条例と情報公開条例について答えてほしい。

学校教育部長 市民参加条例が施行されたのが平成16年、中学の委託が平成18年と20年、中学の時を参考に進めてきた。今回の改革についてお話するのが遅れたことは申し訳ないが、限られた時間の中ではあったが、アンケート、説明会をさせていただき、不十分ということはあると思うが、これからは展開していく中で、保護者の意見をきいたり、関心を持つ方々を増やしてたくさんの方で給食を良くしていきたい。市民参加で給食を盛り上げていきたい。

質問者 そうであれば、9月に委託しないで、少しでも早い市民参加の機会をつくってほしい。プロポーザルの公開、仕様書決めへの参加を要望する。仕様書が重要、透明性をもって公開してほしい。

質問者 説明会を報告会にしないでほしい。今日でた意見を含めて次の時にちゃんとした説明会をしてほしい。

# 議 事 録

説明会の名称	新しい小学校給食調理業務の運営についての保護者等説明会 (第十回)
開催日時	平成25年6月5日(水) 14時00分～16時00分
開催場所	萌え木ホール
説明のため出席した者の職氏名	教育長 津幡 道夫 学校教育部長 天野 建司 庶務課長 関 次郎 学務課長 前島 賢 学務課長補佐 河田 京子 指導室長 河合 雅彦 指導室長補佐 神田 恭司
説明会参加人数	27人
説明会次第	1 教育長挨拶(津幡教育長) 2 新しい経営方法による小学校給食調理業務5校委託4校直営について(天野学校教育部長) 3 民間委託の考え方(前島学務課長) 4 学校給食の指針・牛乳のメーカー変更・保護者アンケート結果について(河田学務課長補佐) 5 質疑応答(説明員) 6 閉会の挨拶
説明会内容	別紙のとおり
配布資料	1 新しい小学校給食調理業務の運営についての保護者等説明会 次第 2 新しい経営方法による小学校給食調理業務5校委託4校直営に ついて 3 学校給食に関する保護者アンケート結果概要 4 小金井市学校給食の指針(参考資料)

## 【質疑応答】

- 質問者 栄養士からチーフに指示が行くと聞いたが、調理員は同じ現場にいるという理解で良いか。
- 学務課長 そんなにタイムラグはない。委託業務ということを考えると、きちんと整理しておかないといけない。
- 質問者 前原小の説明会で、委託後、評価をするシステムを作るという説明があったが、その後どうなったか。
- 学務課長 計画をつくるのに保護者の方も入れた組織をつくりたい。まだ具体的には申し上げられない。
- 質問者 委託前にできるか。
- 学務課長 委託後になる。
- 質問者 職員の不補充の理由は、予算が無いからですか。食は大事だと思うので、なぜ給食の予算が減らされるか。市全体の計画を考えるのはどこですか。将来的にはどうなのか。
- 学務課長 給食については、国から合理化の通知がきて全国に委託が広まっている。本市においては、行財政改革大綱があり効率化を図るため、又、市民協働、公民連携を実現していく。教育だけ削られているわけではない。今後について、4校直営を残すことによって、小金井らしさを守っていく。すぐに欠員が生じる状況ではない。この状況を続けていくと考えている。
- 質問者 現業不補充方針は、市の方針なのか。いつまで続くのか。  
退職者がでた時、小金井らしさを誰が誰に引き継いでいくのかが無いとこの話は成り立たない。  
中学校の検証資料は、この場所になのか。納得できない。
- 学務課長 不補充については、市の方針である。今後、教育委員会としてお答えできることは、この経営方法でやっていきたい。なし崩し的に直営を無くすという考えは持っていない。小金井らしさを守っていきたい。
- 学務課長補佐 今まで公開していなかったことは、反省している。これからは、公開できるものは公開していきたい。
- 質問者 アンケートをやってくださったが、提出期限が短く残念だった。説明会の資料では、栄養士と調理員の仕事がわかれて書いてある実際にどうなのか。小金井らしさを栄養士1人で委託業者のチーフを通して伝えていくのか。

学務課長補佐 栄養士は、食材の検品や作業の進行具合をみたり、出来栄え、味見などの検査で調理場に出入りしている。栄養士が小金井らしさを伝えるということになると、献立を通してとなる。

今考えているのは、調理員同士で研修などで小金井らしさを伝えてもらいたい。

質問者 栄養士が委託会社の調理員と話をすることはできるのか。

学務課長補佐 指示は、チーフを通してとなるが、現場で情報交換をしたり、休憩時間にコミュニケーションをとっている。

質問者 現場は、人とのやりとりだと思うので、現場がスムーズに動くように方法を考えていただきたい。

質問者 これは、決定事項なのか。

委託会社といっしょにやっというモデルとしている市はあるか。小金井らしさとは具体的に何か。

学務課長 5校委託4校直営でいくことは、市の方針である。

他市で、過渡期で共存しているところはあると思うが、一緒にやっという例はあまりないと思う。委託会社はパートナーでないといけないと考えている。現場の調理員も成功させたいと思っている。

「らしさ」とは、自校式であること、各学校に配置された栄養士が学校独自の献立を、手作り調理、アレルギー対応、行事食の取組（バイキング、セレクト給食など）今は、できていない部分もあるので、体制を充実させていきたい。

直営、委託の調理員同士が交流し、給食の試食や情報交換などをし、小金井らしさを守っていききたい。また、委託の調理員さんは体系的にやっているので直営にも参考になる。

質問者 中学校を委託しておいしいと聞いたことがない。検証結果はどうか。小金井らしさの説明があったが、どうか。そのようなことは委託してもできるのではないか。

小学校・中学校の給食試食はしているか。

学務課長補佐 学校給食運営協議会を1年に1回開催している。学校・委託業者・保護者の方、教育委員会がメンバーになっている。学校で給食についての取組や資料を出してもらっている。学校によって、アンケートの結果がある。7～8割の子どもは満足しているという結果はある。しかし、市全体としての統計結果がないので市としてお示しできるデータがない。

また、栄養士・調理員・教育委員会で1年に1回現場視察をしている。総合的な結果で検証報告書としている。これからは、公開していただきたい。

学務課長　　らしさというのは、手作りというのは大きいと思う。冷凍食品や半調理員は使わない、ルーも手作り、調理パンは使わない。調理面での小金井らしさはある。だしの取り方ひとつでも小金井流がある。科学的にどうかということ難しいが、数値で表せないことも引継ぎたい。委託の調理員にもわかってもらう。

全員試食はしている。おいしいと思っている。

質問者　　アンケートが急だったので、不安に思っている。説明会の時間帯で子どもをおいて参加しにくいので余計不安だった。

なぜ急だったのか。また、小金井らしさ、味は感覚なのだと思うが、調理員とのコミュニケーションが重要だと思う。子どもを通して、食べ残しが多くて調理員さんが悲しんでいるというような話もきく。愛情込めてつくってくれる人に来てもらいたい。調理員の人選に市がどこまでかかわれるのか。

学務課長　　時間が短いのは、申し訳ない。混乱を避けるため現場の職員との交渉がまとまってから動き出したので。時間が無い中では、できることはやってきた。

小学校は特にふれあいは必要と考える。業者もふれあいを大切にすることは重要だと考えている。中学校の委託業者の調理員も義務的ではなく、おいしい給食をつくりたいと言う思いでつくってくれているので心配はないが、業者の選定には、そういうところも重要視したい。業者の人選までは関われないが、経験年数の条件はある。直営で調理員がやっていたことは、委託後も継続してやってもらう予定。

質問者　　アンケートがなぜこんなに遅かったのか。

学務課長　　職員団体との合意は4月12日、そのあとの準備でアンケートの内容の検討など時間を取ってしまい、遅くなってしまった。

質問者　　なぜそんなに急がなければいけないのか。

学務課長　　9月に委託を開始したいから。調理員の体制が先まで伸ばせる状況ではない。欠員だけでなく、休んでいる職員もいる。調理の質を落とすことになったり、事故も心配、学校間の応援体制も組んでいる。もう限界まできているので9月に間に合わせたい。

質問者　　市民置き去りで、市の都合のように思える。指針が出たら、今年は、同プランを立てて進めて行く時期だと思う。原発事故以来、心配な保護者が多く、パブコメをやって指針ができたのに。労使と時間をかけたが、市民には時間をかけていない。委託がバタバタと決まって、指針のプランをつくる時間はあるのか。業者選定スケジュールでプロポーザルが6月上旬となっているが、間に合うか。あまりにも拙速と思う。

学務課長 指針は、委託とは関係なくつくってきた。委託と指針のプランとは並行してできると思っている。

確かに委託の決定については、市民の意見が取り入れられていない。委託することについては、ご理解いただきたい。今後については、市民の意見を取り入れて、いっしょに運営していきたいので、ご協力をお願いしたい。

業者選定の公表は遅れているが、中学校の時のスケジュールでいけば、大丈夫。

質問者 いつ頃から募集するのか。

学務課長 6月10日に公表、15日号の市報に掲載予定。

質問者 説明会の時間帯、幼稚園のお迎えや子どもが帰ってくる時間なので参加できない。

なぜ、委託するのか納得できない。

業者の人選について、人件費が削減されて、雇用が不安定になり、人が入替るのではないか。学校という場所にどういう人が入ってくるのか。万が一のことが起こった時にだれがどう責任をとるのか。

学務課長 午前中に開く予定だったが、会場が取れなくて午後になった。お詫びする。日程も今日しか取れなかった。

人件費が削られる。行革は子ども達に帰っていくと思っている。中学校の委託の効果で給食の食器を変えている。今回も食器や教育プランに財政効果をあて子ども達にかえていきたい。公務員の給料が民間に比べて高い、8月の一カ月分は見積もりにはいっていないとかの理由がある。人選は関われないが、安定した業者を選ぶので安定した雇用ができていると考える。万が一の場合は、直営も同じだが、教育委員会が責任を持つことになる。個人的や会社的なことがあるのであればそこに求めて行くことになる。

質問者 説明会は、何回もやった方がいい。説明責任が果たせているか。後々も不安である。子ども達の安全や命にかかわることだから慎重にやってほしい。中学校が委託されて5年間何をやってきたのか。このまま進めて行くのは危ないという感想をもった。現業不補充でこのような事態を招いたのは小金井市のあり方ではないか。私たちが我慢しなければならぬのか。教育委員会は現業不補充についてどのように抵抗したのか。小学校の委託はしないと行ったのに、行革大綱でどのように反映したのか。

学務課長 中学校の学校給食運営協議会では、保護者が入っている。今、学校給食全体に皆さんの意見を反映していくことを考えている。今まで何もしてこなかったというわけではない。

採用が難しいことは市の方針なので、教育委員会としてそこを問うことにはならない。直営を続けていけるように非常勤を補充したりやって



きたが、それにも限界がある。皆さんに我慢していただいたとは思っていない。今までは直営の責任でやってきた。

行財政改革大綱の策定の段階では、新しい経営方法がどうあるべきかから始まっているので、ないがしろにするとか初めから委託にするということではなかった。

質問者

説明会の日時についてなぜこの時間なのか。小学校は委託しないといっただのに変わった直営4校を残すというのも変わってしまうのか。

直営校の説明会に参加し、学校の試食会でDVDを見た。調理工程以外にも、節水、ごみ出し、石けんを使うなど小金井ならではのことに。

また、給食費は食材のみでアルミのトレーは市で負担しているということなどをきいた。水の使用やごみの排出などきちんとやってくれる業者を見極められるのか。

市とURのことを見ていて、業者に責任を迫及できるのか疑問を感じる。安全装置はどう考えているのか。

連絡協で検証しているが委託校のみか。検証内容をみられるか。直営校の意見はどう反映するのか。

学務課長

委託になっても回転釜の炊飯を経験している人がくるので、技術は大丈夫。調理以外のことについても、業者は改善を依頼すればすぐ改善してくれる。

委託業務なので、完了報告は求めている。契約違反があれば契約解除になるが、そういう業者は選ばない。

委託校に学校給食運営協議会があり、教育委員会全体で学校給食に関する連絡協議会があり、その中で検証している。

今は、直営校の検証はやっていない。今後は、直営・委託にかかわらず、検証をやっていきたいと考えている。

既存の組織を続けるか新たな組織を立ち上げるか検討するが、保護者の意見を取り入れることを考えていきたい。

質問者

放射能対策について、基準値はどのくらいか。公表はしているか。小金井産のものも測定しているか。4月から入学し、牛乳を飲ませない予定だったが、変更してくれてよかった。

試食会にあって、愛情をかけてつくってくれていることに感動。人がつくっているものなので、マニュアルどおりだけでなく愛情込めてつくってくれる業者をお願いしたい。

学務課長補佐

下限値は、10ベクレル/kg。

測定する食材は、学校から順番に出してもらっている。小金井産の野菜も測定したことはある。希望があれば学校にお伝えいただきたい。

結果はホームページで公表している。保育園の測定で出た結果についても、学校で控えるなどの対応をしている。